

高知県ヤングケアラー実態調査 結果報告書

令和5年2月

高 知 県

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の実施概要.....	1
3. 報告書の見方.....	1
第2章 調査の結果	2
1. 基本情報.....	2
問1. 通っている課程（高校生のみ）.....	2
問2. 学年.....	2
問3. 性別.....	2
問4. 居住地.....	3
問5. 家族構成（同居家族）.....	3
問6. 健康状態.....	3
2. 普段の生活について.....	4
問7. 学校への通学状況（欠席、遅刻、早退の状況）.....	4
問8. 欠席や遅刻、早退の理由.....	5
問9. 部活動への参加状況.....	5
問10. 普段の学校生活ではあてはまること.....	6
問11. 現在の悩みや困りごと.....	7
問12. 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無.....	7
3. 家庭や家族のことについて.....	8
問13. 世話をしている家族の有無.....	8
問14. (1) 世話を必要としている家族の続柄.....	8
問14. (2) 世話をしている人の状況・行っている世話の内容.....	9
問14. (3) 世話を一緒にしている人.....	12
問14. (4) 世話を始めた年齢.....	12
問14. (5) 世話をしている頻度.....	13
問14. (6) 平日1日あたりに世話に費やす時間.....	14
問14. (7) 休日1日あたりに世話に費やす時間.....	15
問15. 世話をしているために、やりたいけれどできていないこと.....	16
問16. 世話をすることに感じているきつさ.....	16
問17. 世話について相談した経験.....	17
問18. 世話についての相談相手.....	17
問19. 相談したことによる状況の変化.....	18
問20. 世話についての悩みを相談していない理由.....	18
問21. 世話についての悩みを相談しやすい相手.....	19
問22. 学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援.....	20
問23. 希望する相談方法.....	20

4. ヤングケアラーについて.....	21
問24. ヤングケアラーの自己認識.....	21
問25. ヤングケアラーの認知度.....	21
問26. ヤングケアラーについて知ったきっかけ.....	22
問27. ヤングケアラーの相談窓口の認知度.....	22
問28. ヤングケアラーのフォーラムへの参加意向.....	23
問29. ヤングケアラーのオンラインサロンへの参加意向.....	23
問30. 自由意見（ヤングケアラー支援に必要なこと等）.....	24

第3章 テーマ別の分析..... 27

1. 世話をしている家族の有無別にみた生活等の状況の違い.....	27
2. 家族構成による世話の状況の違い.....	31
3. 世話を必要としている家族による世話の状況.....	33
4. ヤングケアラーの自己意識による生活状況、世話の状況の違い.....	35
5. 世話の状況の違いごとの世話に要する頻度等の違い.....	39
6. 世話をしているため、やりたいけどできていないことがある人の状況....	42

第4章 アンケート調査票..... 44

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

ヤングケアラーは、年齢や成長度合いに見合わない重い責任を負うことで、本人の育ちや教育に影響があるといった課題があるとされているが、家庭内のデリケートな問題、本人や家族の自覚がないといった理由などから、支援が必要であっても表面化しにくい構造になっている。

国においては、令和2年に中学2年生及び高校2年生を対象とした初めてのヤングケアラーに関する全国調査を実施し、世話をしている家族が「いる」と回答した子どもは中学2年生で5.7%、高校2年生で4.1%という結果などのヤングケアラーの状況を受けて、早期発見・把握、支援策の推進、社会的認知度の向上といった施策に取り組んでいる。

本県においても、ヤングケアラーへの支援の充実に向けた施策に取り組むことが重要であることから、県内の中高生に対してヤングケアラーの定義や相談機関の周知を図るとともに、ヤングケアラーの実態の把握を行うことで今後の支援策を検討するため「中高生の生活実態に関するアンケート調査」を実施した。

2. 調査の実施概要

- (1) 調査対象者 : 高知県内の中学校(106校)及び高等学校(46校)に在籍する生徒・保護者
 ※中学校のうち4校は義務教育学校の7年生から9年生
 ※特別支援学校は除く
- (2) 調査対象数 : 学校種別に下記のとおり、回答サンプルを取得

	学校種別			対象数	回収数	回収率
	公立	私立	国立			
中学生	13,206人	2,975人	417人	16,598人	1,729人	10.4%
高校生	11,782人	5,412人	0人	17,194人	1,489人	8.7%
合計	24,988人	8,387人	417人	33,792人	3,218人	9.5%

- (3) 実施期間 : 令和4年6月13日(月)～令和4年7月13日(水)
- (4) 調査方法 : 調査対象となった学校を通じて対象者に調査回答フォームのQRコード、URLを記載した調査概要を配布。WEB上で回答、回収した。また、WEB環境にない生徒用に一部調査票を配布し、回答、回収した。

3. 報告書の見方

- (1) 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入している。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合がある。このことは、本報告書内の表においても反映している。
- (2) 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- (3) 高校生の回答数は、課程の種別ごと(全日制、通信制、定時制)の内数を記載しているが、通信制及び定時制については回答数が少ないため参考値として記載している。また、課程の種別について、その他及び無回答の回答の内数は記載していないため、全日制、通信制、定時制の合計値が、高校生全体の回答数に対して100.0%にならない場合がある。

第2章 調査の結果

1. 基本情報

問1. 通っている課程（高校生のみ）

あなたの通っている課程を教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

通っている課程は、以下のとおりとなっている。

表 通っている課程（高校生のみ）

回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答
	全日制	定時制	通信制	その他	
1,489	1,388	71	21	6	3

問2. 学年

あなたの学年を教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

学年は、以下のとおりとなっている。

表 学年

網掛け =	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)	
		1年生	2年生	3年生	あてはまるものはない	無回答	
全体	3,218	28.9	30.2	40.1	0.7	0.1	
学校別	中学校	1,729	33.8	28.1	38.0	-	0.2
	高校	1,489	23.3	32.6	42.4	1.5	0.1
	全日制	1,388	23.6	32.1	44.2	0.1	-
	定時制	71	18.3	39.4	19.7	22.5	-
	通信制	21	28.6	57.1	9.5	4.8	-
	その他	6	16.7	-	16.7	66.7	-
	無回答	3	-	-	66.7	-	33.3

問3. 性別

あなたの性別を教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

性別は、以下のとおりとなっている。

表 性別

網掛け =	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(%)	
		男性	女性	その他	無回答	
全体	3,218	45.2	53.2	1.1	0.4	
学校別	中学校	1,729	45.8	53.1	0.7	0.4
	高校	1,489	44.5	53.3	1.7	0.5
	全日制	1,388	43.7	54.5	1.4	0.4
	定時制	71	67.6	32.4	-	-
	通信制	21	23.8	61.9	14.3	-

問4. 居住地

あなたが住んでいる(普段生活している)市町村を教えてください。(あてはまる番号1つを選択)

居住地は、以下のとおりとなっている。

表 居住地

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(%)
		高知市	安芸広域圏	南国・香美広域圏	嶺北広域圏	仁淀川広域圏	高吾北広域圏	高幡広域圏	幡多広域圏	無回答
1位										
2位										
全体	3,218	51.6	3.9	14.4	0.4	7.3	4.9	8.4	8.8	0.4
学校別	中学校	1,729	52.3	4.5	12.8	0.8	8.6	6.4	6.3	0.3
	高校	1,489	50.7	3.2	16.1	0.1	5.8	3.2	10.7	0.6
	全日制	1,388	50.4	3.2	16.5	0.1	6.1	2.4	11.1	0.5
	定時制	71	62.0	2.8	8.5	-	-	18.3	4.2	4.2
	通信制	21	23.8	4.8	23.8	-	4.8	-	14.3	28.6

問5. 家族構成(同居家族)

現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「二世帯世帯」(62.1%)が最も多く、次いで「三世帯世帯」(17.5%)、「ひとり親世帯」(16.0%)などとなっている。

表 同居家族

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)
		二世帯世帯	三世帯世帯	ひとり親世帯	その他世帯	無回答
1位						
2位						
全体	3,218	62.1	17.5	16.0	3.9	0.5
学校別	中学校	1,729	65.9	17.5	15.6	0.6
	高校	1,489	57.6	17.5	16.5	7.7
	全日制	1,388	58.6	17.7	15.3	7.6
	定時制	71	49.3	14.1	32.4	4.2
	通信制	21	33.3	19.0	42.9	4.8

問6. 健康状態

あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つを選択)

全体では、「よい」(48.5%)が最も多く、次いで「ふつう」(23.5%)、「まあよい」(20.8%)などとなっている。

学校別にみると、中学校、高校(全日制)は「よい」「まあよい」といった比較的よいとする人が多く、一方で、高校(定時制)、高校(通信制)は「ふつう」「あまりよくない」といった人が他に比べて多くなっている。

表 健康状態

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(%)
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
1位							
2位							
全体	3,218	48.5	20.8	23.5	5.8	1.1	0.3
学校別	中学校	1,729	49.9	21.2	22.8	5.1	0.8
	高校	1,489	46.9	20.3	24.3	6.6	1.6
	全日制	1,388	48.6	20.0	24.0	5.9	1.3
	定時制	71	28.2	21.1	28.2	16.9	5.6
	通信制	21	9.5	28.6	38.1	23.8	-

2. 普段の生活について

問7. 学校への通学状況（欠席、遅刻、早退の状況）

学校への通学状況（病気の場合を除く）について教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

（1）欠席の状況

全体では、「まったくない（0回）」（57.6%）が最も多く、次いで「ほとんどない（年に1～2回程度）」（28.3%）、「たまにする（月1回程度）」（8.9%）などとなっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「まったくない」が最も多いが、一方で、高校（定時制）、高校（通信制）は「たまにする」「よくする」といった人が他に比べて多くなっている。

表 欠席の状況

網掛け＝	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(%)
			まったくない (0回)	ほとんどない (年に1～2回 程度)	たまにする(月 1回程度)	よくする(2週 間に1回以上)		
全 体		3,218	57.6	28.3	8.9	3.7		1.5
学 校 別	中学校	1,729	57.3	28.5	8.6	3.6		2.0
	高校	1,489	57.8	28.1	9.3	3.8		0.9
	全日制	1,388	59.3	29.1	7.9	2.9		0.8
	定時制	71	38.0	14.1	25.4	19.7		2.8
	通信制	21	38.1	19.0	38.1	4.8		-

（2）遅刻の状況

全体では、「まったくない（0回）」（68.9%）が最も多く、次いで「ほとんどない（年に1～2回程度）」（18.5%）、「たまにする（月1回程度）」（6.3%）などとなっている。

学校別にみると、すべての学校で「まったくない」が最も多く、一方で、高校（定時制）、高校（通信制）は「たまにする」「よくする」といった人が他に比べて多くなっている。

表 遅刻の状況

網掛け＝	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(%)
			まったくない (0回)	ほとんどない (年に1～2回 程度)	たまにする(月 1回程度)	よくする(2週 間に1回以上)		
全 体		3,218	68.9	18.5	6.3	3.9		2.5
学 校 別	中学校	1,729	69.2	17.8	6.0	3.8		3.3
	高校	1,489	68.6	19.3	6.6	4.0		1.5
	全日制	1,388	70.0	19.5	6.3	3.0		1.3
	定時制	71	46.5	16.9	15.5	15.5		5.6
	通信制	21	61.9	19.0	-	19.0		-

（3）早退の状況

早退の状況は、「まったくない（0回）」（69.0%）が最も多く、次いで「ほとんどない（年に1～2回程度）」（23.1%）、「たまにする（月1回程度）」（4.0%）などとなっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「まったくない」が半数以上と多くなっている。

表 早退の状況

網掛け＝	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(%)
			まったくない (0回)	ほとんどない (年に1～2回 程度)	たまにする(月 1回程度)	よくする(2週 間に1回以上)		
全 体		3,218	69.0	23.1	4.0	1.1		2.7
学 校 別	中学校	1,729	66.7	24.3	4.2	1.4		3.4
	高校	1,489	71.8	21.6	3.8	0.9		1.9
	全日制	1,388	72.6	21.6	3.7	0.4		1.7
	定時制	71	57.7	22.5	8.5	4.2		7.0
	通信制	21	66.7	23.8	-	9.5		-

問8. 欠席や遅刻、早退の理由

欠席や遅刻、早退を「たまにする」または「よくする」理由を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「その他の理由」(48.1%)が最も多く、次いで「朝起きられないから」(39.2%)、「勉強が楽しくないから」(18.0%)などとなっている。

学校別にみると、中学校、高校(全日制)、高校(定時制)は「その他の理由」が最も多く、高校(通信制)は「朝起きられないから」(66.7%)が最も多くなっている。

表 欠席や遅刻、早退の理由

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(%)
			勉強が楽しくないから	友人関係が楽しくないから	家の用事があるから	他にやりたいことがあるから	朝起きられないから	その他の理由	無回答
全体		595	18.0	13.3	6.1	7.7	39.2	48.1	7.6
学校別	中学校	329	16.4	13.4	7.6	6.1	38.9	46.2	10.0
	高校	266	19.9	13.2	4.1	9.8	39.5	50.4	4.5
	全日制	216	20.8	13.9	3.7	9.7	41.2	49.1	4.6
	定時制	37	13.5	8.1	5.4	10.8	27.0	56.8	5.4
	通信制	9	22.2	22.2	11.1	-	66.7	55.6	-

問9. 部活動への参加状況

部活動(学校外での活動を含む)に参加していますか。(あてはまる番号1つを選択)

全体では、「参加している」(77.3%)、「参加していない」(22.2%)となっている。

学校別にみると、中学校、高校(全日制)は「参加している」が7割を超えている。

表 部活動への参加状況

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(%)
			参加している	参加していない	無回答
全体		3,218	77.3	22.2	0.4
学校別	中学校	1,729	84.4	15.1	0.5
	高校	1,489	69.2	30.6	0.3
	全日制	1,388	71.5	28.2	0.2
	定時制	71	43.7	56.3	-
	通信制	21	19.0	81.0	-

問10. 普段の学校生活であてはまること

普段の学校生活であてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「特にない」(55.4%)が最も多く、次いで「授業中に居眠りすることが多い」(23.3%)、「宿題や課題ができていないことが多い」(16.5%)、「学校への書類の提出が遅れることが多い」(13.0%)などとなっている。

表 普段の学校生活であてはまること

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(%)
網掛け =	1位									
	2位									
全体	3,218	23.3	16.5	7.4	4.4	13.0	0.7	1.5	6.3	
学校別	中学校	1,729	16.8	19.0	9.9	6.3	15.9	0.5	1.6	5.7
	高校	1,489	31.0	13.6	4.4	2.1	9.6	0.9	1.4	7.1
	全日制	1,388	32.1	13.7	4.3	2.0	9.5	0.6	1.2	6.7
	定時制	71	14.1	11.3	5.6	5.6	9.9	1.4	5.6	8.5
	通信制	21	4.8	14.3	-	-	14.3	19.0	-	28.6
		(9)	(10)	(11)	(%)					
網掛け =	1位									
	2位									
全体	1.8	6.3	55.4	3.3						
学校別	中学校	2.0	5.9	57.3	4.0					
	高校	1.7	6.8	53.3	2.5					
	全日制	1.6	6.1	53.5	2.5					
	定時制	2.8	15.5	53.5	1.4					
	通信制	4.8	28.6	47.6	-					

問1.1. 現在の悩みや困りごと

現在、悩んだり困っていることはありますか。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「勉強や成績のこと」(40.2%)が最も多く、次いで「進路のこと」(40.1%)、「特にない」(34.3%)などとなっている。

学校別にみると、中学校は「勉強や成績のこと」(38.6%)、高校(全日制)は「進路のこと」(51.7%)、高校(定時制)は「特にない」(45.1%)、高校(通信制)は「進路のこと」、「特にない」(同率で38.1%)がそれぞれ最も多く、また、高校(通信制)は「家庭の経済的なこと」、「自分と家族との関係のこと」、「自分のために使える時間のこと」が他に比べて多くなっている。

表 現在の悩みや困りごと

網掛け = 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(%)
		友人との関係のこと	勉強や成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費など学校生活に必要なお金のこと	塾や習い事のこと(行きたくても行けないなど)	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	
全体	3,218	14.9	40.2	40.1	12.0	6.4	2.1	6.0	5.7	
学校別	中学校	1,729	15.7	38.6	31.2	13.4	3.2	2.0	4.5	5.0
	高校	1,489	14.1	42.0	50.4	10.3	10.0	2.2	7.7	6.4
	全日制	1,388	14.0	43.0	51.7	10.7	9.9	2.3	7.5	6.3
	定時制	71	15.5	28.2	35.2	7.0	11.3	1.4	9.9	7.0
	通信制	21	19.0	33.3	38.1	4.8	14.3	-	19.0	14.3
網掛け = 1位 2位	回答数(人)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(%)			
		家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間のこと	その他	特にない	無回答			
全体	3,218	3.8	1.5	11.0	4.1	34.3	5.6			
学校別	中学校	1,729	3.1	1.2	9.8	3.9	37.4	7.5		
	高校	1,489	4.6	1.9	12.3	4.2	30.7	3.4		
	全日制	1,388	4.3	1.8	12.1	3.9	29.7	3.4		
	定時制	71	8.5	-	12.7	4.2	45.1	2.8		
	通信制	21	9.5	9.5	28.6	23.8	38.1	-		

問1.2. 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

回答した悩みや困りごとについて、相談にのってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまる番号1つを選択)

全体では、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」(65.0%)が最も多く、次いで「相談や話をしたくない」(22.5%)、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」(6.2%)となっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が半数を超えて最も多くなっているが、高校(通信制)は「相談や話をしたくない」(38.5%)が他に比べて多くなっている。

表 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

網掛け = 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(%)	
		相談相手や話を聞いてくれる人がいる	相談相手や話を聞いてくれる人がいない	相談や話をしたくない	無回答	
全体	1,934	65.0	6.2	22.5	6.2	
学校別	中学校	952	60.4	7.2	24.9	7.5
	高校	982	69.6	5.2	20.3	5.0
	全日制	929	70.5	5.0	19.3	5.3
	定時制	37	54.1	13.5	32.4	-
	通信制	13	61.5	-	38.5	-

3. 家庭や家族のことについて

問13. 世話をしている家族の有無

家族の中にあなたがお世話をしている方はいますか。(ここで「お世話」とは本来、大人がすると考えられる食事のたく、洗たくなどの家事や家族のお世話などを日常的にすることです。)(あてはまる番号1つを選択)

全体では、「いる」(15.3%)、「いない」(79.1%)となっている。

学校別にみると、「いる」と回答した割合は、中学生が15.5%、高校(全日制)が15.0%、高校(定時制)が12.7%、高校(通信制)が9.5%となっている。

表 世話をしている家族の有無

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(%)
			いる	いない	無回答
全体		3,218	15.3	79.1	5.6
学校別	中学校	1,729	15.5	77.8	6.7
	高校	1,489	15.0	80.5	4.4
	全日制	1,388	15.1	80.4	4.5
	定時制	71	12.7	81.7	5.6
	通信制	21	9.5	90.5	-

問14. (1) 世話を必要としている家族の続柄

お世話をしている方(あてはまる番号すべてを選択)

家族の中にお世話をしている人が「いる」と回答した人に、お世話をしている人が誰か聞いたところ、全体では、「父母」(61.6%)が最も多く、次いで「きょうだい」(26.8%)、「祖父母」(18.3%)などとなっている。

学校別にみると、中学校、高校ともに「父母」が最も多くなっている。

表 世話を必要としている家族の続柄

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)
			父母	祖父母	きょうだい	その他	無回答
全体		492	61.6	18.3	26.8	6.5	18.7
学校別	中学校	268	64.2	18.7	26.1	6.3	18.3
	高校	224	58.5	17.9	27.7	6.7	19.2
	全日制	210	58.1	19.0	28.6	5.2	20.5
	定時制	9	77.8	-	11.1	22.2	-
	通信制	-	-	-	-	-	-

問14. (2) 世話をしている人の状況・行っている世話の内容

お世話を必要としている方の状況を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択)
また、あなたがしているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択)

① 父母の状況および世話の内容

世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、父母の状況を聞いたところ、全体では、「家事ができない」(6.0%)が最も多く、次いで「その他」(4.9%)などとなっている。

学校別にみると、中学校、高校(定時制)は「家事ができない(しない)」、高校(全日制)は「その他」がそれぞれ最も多くなっている。

表 父母の状況

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(%)
		お年寄り	介護が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	精神障がい(疑い含む)	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など)(疑い含む)	病気	家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)ができない(しない)	
1位 2位	465	2.2	1.3	-	0.6	-	-	-	3.4	6.0	
学校別	中学校	272	2.2	1.1	-	-	-	-	4.0	4.8	
	高校	193	2.1	-	-	1.6	-	-	2.6	7.8	
	全日制	180	2.2	-	-	1.7	-	-	2.8	7.2	
	定時制	11	-	-	-	-	-	-	-	18.2	
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

網掛け=	回答数(人)	(10)	(%)
		その他	無回答
1位 2位	465	4.9	81.1
学校別	中学校	3.3	83.1
	高校	7.3	78.2
	全日制	7.8	77.8
	定時制	-	81.8
	通信制	-	-

世話を必要としている家族として「父母」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、全体では、「家事」(23.9%)が最も多く、次いで「外出の付き添い」(6.0%)などとなっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「家事」(高校(定時制)は同率で「その他」)が最も多く、次いで「外出の付き添い」などとなっている。

表 父母への世話の内容

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(%)
		家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)	入浴やトイレのお世話など	外出の付き添い(買い物、散歩など)	病院への付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	目が離せない人の見守り	通訳(日本語や手話など)	お金の管理	薬の管理	
1位 2位	465	23.9	2.4	6.0	2.2	4.3	-	0.4	3.7	1.3	
学校別	中学校	272	19.9	2.6	4.4	2.2	-	0.7	3.3	1.1	
	高校	193	29.5	2.1	8.3	2.1	7.3	-	-	-	
	全日制	180	30.0	2.2	7.8	2.2	7.2	-	-	-	
	定時制	11	27.3	-	18.2	-	-	-	-	-	
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

網掛け=	回答数(人)	(10)	(11)	(%)
		家計を支えるためにアルバイトをしている	その他	無回答
1位 2位	465	-	2.4	70.5
学校別	中学校	-	0.7	76.5
	高校	-	4.7	62.2
	全日制	-	3.3	62.8
	定時制	-	27.3	45.5
	通信制	-	-	-

② 祖父母の状況および世話の内容

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、祖父母の状況を聞いたところ、全体では、「お年寄り」(29.1%)が最も多く、次いで「認知症」、「病氣」(ともに7.1%)などとなっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「お年寄り」が最も多くなっている。

表 祖父母の状況

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(%)
		お年寄り	介護が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	精神障がい(疑い含む)	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など)(疑い含む)	病氣	家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)ができない(しない)	
1位 2位											
全体	127	29.1	5.5	7.1	3.1	-	-	-	7.1	4.7	
学校別	中学校	74	27.0	5.4	5.4	4.1	-	-	6.8	-	
	高校	53	32.1	5.7	9.4	-	-	-	7.5	7.5	
	全日制	53	32.1	5.7	9.4	-	-	-	7.5	7.5	
	定時制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

網掛け=	回答数(人)	(10)	(%)
		その他	無回答
1位 2位			
全体	4.7	64.6	
学校別	中学校	-	66.2
	高校	11.3	62.3
	全日制	11.3	62.3
	定時制	-	-
	通信制	-	-

世話を必要としている家族として「祖父母」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、全体では、「家事」(16.5%)が最も多く、次いで「入浴やトイレのお世話など」(4.7%)などとなっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「家事」が最も多く、次いで中学校は「入浴やトイレのお世話など」、高校(全日制)は「感情面のサポート」などとなっている。

表 祖父母への世話の内容

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(%)
		家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)	入浴やトイレのお世話など	外出の付き添い(買い物、散歩など)	病院への付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	目が離せない人の見守り	通訳(日本語や手話など)	お金の管理	薬の管理	
1位 2位											
全体	127	16.5	4.7	-	-	3.9	1.6	-	2.4	3.1	
学校別	中学校	74	13.5	5.4	-	-	2.7	-	2.7	4.1	
	高校	53	20.8	3.8	-	-	7.5	-	-	-	
	全日制	53	20.8	3.8	-	-	7.5	-	-	-	
	定時制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

網掛け=	回答数(人)	(10)	(11)	(%)
		家計を支えるためにアルバイトをしている	その他	無回答
1位 2位				
全体	-	2.4	76.4	
学校別	中学校	-	82.4	
	高校	-	5.7	67.9
	全日制	-	5.7	67.9
	定時制	-	-	-
	通信制	-	-	-

③ きょうだいの状況および世話の内容

世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した人に、きょうだいの状況を聞いたところ、全体では、「まだ幼い子ども」(31.1%)が最も多く、次いで「家事ができない(しない)」(13.6%)、「その他」(9.1%)などとなっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「まだ幼い子ども」が最も多く、次いで「家事ができない(しない)」となっている。

表 きょうだいの状況

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(%)
		まだ幼い子ども	介護が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	精神障がい(疑い含む)	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など)(疑い含む)	病気	家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)ができない(しない)	
1位 2位	132	31.1	0.8	-	1.5	2.3	1.5	-	2.3	13.6	
学校別	中学校	70	31.4	1.4	-	-	-	-	4.3	14.3	
	高校	62	30.6	-	-	3.2	4.8	3.2	-	12.9	
	全日制	60	30.0	-	-	3.3	5.0	3.3	-	13.3	
	定時制	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

網掛け=	(10) (%)		
	その他	無回答	
1位 2位	9.1	47.0	
学校別	中学校	7.1	51.4
	高校	11.3	41.9
	全日制	11.7	41.7
	定時制	-	100.0
	通信制	-	-

世話を必要としている家族として「きょうだい」と回答した人に、世話の内容を聞いたところ、全体では、「家事」(33.3%)が最も多く、次いで「兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など」、「入浴やトイレのお世話など」(ともに15.2%)などとなっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「家事」が最も多くなっている。

表 きょうだいへの世話の内容

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(%)
		家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)	兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など	入浴やトイレのお世話など	外出の付き添い(買い物、散歩など)	病院への付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	目が離せない人の見守り	通訳(日本語や手話など)	お金の管理	
1位 2位	132	33.3	15.2	15.2	10.6	1.5	9.8	11.4	-	3.0	
学校別	中学校	70	27.1	14.3	15.7	10.0	1.4	5.7	7.1	-	4.3
	高校	62	40.3	16.1	14.5	11.3	1.6	14.5	16.1	-	1.6
	全日制	60	40.0	15.0	15.0	11.7	1.7	13.3	16.7	-	1.7
	定時制	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

網掛け=	(10)	(11)	(12)	(%)	
	薬の管理	家計を支えるためにアルバイトをしている	その他	無回答	
1位 2位	3.8	2.3	3.0	40.9	
学校別	中学校	2.9	-	2.9	52.9
	高校	4.8	4.8	3.2	27.4
	全日制	5.0	3.3	3.3	28.3
	定時制	-	100.0	-	-
	通信制	-	-	-	-

問14. (3) 世話を一緒にしている人

お世話は誰と行っていますか。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「母親」(22.2%)が最も多く、次いで「父親」(13.2%)、「兄弟・姉妹」(13.0%)などとなっている。

学校別にみると、中学校、高校(全日制)は「母親」、高校(定時制)は「その他の手伝ってくれる方」がそれぞれ最も多くなっている。

表 世話を一緒にしている人

網掛け =	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(%)
			母親	父親	おばあさん	おじいさん	兄弟・姉妹	親せきの人	自分のみ	福祉サービス(ヘルパーなど)を利用	
全体		492	22.2	13.2	4.9	2.0	13.0	0.6	6.1		1.6
学校別	中学校	268	18.7	11.6	6.7	3.0	12.3	0.7	5.2		1.1
	高校	224	26.3	15.2	2.7	0.9	13.8	0.4	7.1		2.2
	全日制	210	27.1	15.7	2.4	1.0	14.3	0.5	7.1		1.9
	定時制	9	11.1	-	-	-	11.1	-	11.1		-
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-		-

網掛け =	1位 2位	回答数(人)	(9)	(%)
			その他の手伝ってくれる方	無回答
全体		1.8	63.8	
学校別	中学校	0.4	69.0	
	高校	3.6	57.6	
	全日制	1.9	58.1	
	定時制	22.2	55.6	
	通信制	-	-	

問14. (4) 世話を始めた年齢

お世話を始めたあなたの年齢をお答えください。(はっきりとわからない場合は、だいたい年齢でかまいません)

全体では、「中学生以降」(13.6%)が最も多く、次いで「小学生(高学年)」(11.2%)、「小学生(低学年)」(4.3%)などとなっており、平均13.6歳となっている。

学校別にみると、中学校は「小学生(高学年)」、高校(全日制)、高校(定時制)は「中学生以降」がそれぞれ最も多く、平均は中学校が12.3歳、高校(全日制)が14.4歳、高校(定時制)が13.7歳となっている。

表 世話を始めた年齢

網掛け =	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)	平均年齢(歳)
			就学前	小学生(低学年)	小学生(高学年)	中学生以降	無回答	
全体		492	1.6	4.3	11.2	13.6	69.3	13.6
学校別	中学校	268	1.1	6.0	13.1	5.6	74.3	12.3
	高校	224	2.2	2.2	8.9	23.2	63.4	14.6
	全日制	210	1.9	2.4	9.0	23.3	63.3	14.4
	定時制	9	-	-	11.1	22.2	66.7	13.7
	通信制	-	-	-	-	-	-	-

問14. (5) 世話をしている頻度

どれくらいお世話をしていますか(あてはまる番号1つを選択)

全体では、「ほぼ毎日」(15.9%)が最も多く、次いで「週に3～5日」(6.9%)、「週に1～2日」(5.5%)などとなっている。

学校別にみると、中学校、高校(全日制)、高校(定時制)は「ほぼ毎日」(同率項目あり)がそれぞれ最も多くなっている。

表 世話をしている頻度

網掛け=	1位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(%)
	2位		ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他		
全体		492	15.9	6.9	5.5	4.3	2.4	65.0	
学校別	中学校	268	12.3	8.2	4.9	3.0	1.5	70.1	
	高校	224	20.1	5.4	6.3	5.8	3.6	58.9	
	全日制	210	20.0	5.7	6.7	6.2	1.9	59.5	
	定時制	9	22.2	-	-	-	22.2	55.6	
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-

問14. (6) 平日1日あたりに世話を費やす時間

平日にお世話はどれくらい行っていますか。

全体では、「3時間未満」(25.8%)が最も多く、次いで「3～7時間」(3.0%)、「7時間以上」(1.0%)となっており、平均1.8時間となっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「3時間未満」(同率項目あり)が最も多く、平均は中学校が1.3時間、高校(全日制)が1.8時間、高校(定時制)が3.3時間となっている。

表 平日1日あたりに世話を費やす時間(平均)

網掛け=	1位		(1)		(2)		(3)		平均(時間)
	2位		3時間未満	3～7時間未満	7時間以上	無回答	(%)		
全体	492		25.8	3.0	1.0	70.1		1.8	
学校別	中学校	268	23.9	1.5	-	74.6		1.3	
	高校	224	28.1	4.9	2.2	64.7		2.2	
	全日制	210	28.6	4.3	1.4	65.7		1.8	
	定時制	9	22.2	22.2	-	55.6		3.3	
	通信制	-	-	-	-	-		-	

最長時間は、「3時間未満」(18.1%)が最も多く、次いで「3～7時間」(8.5%)、「7時間以上」(2.0%)となっており、平均2.8時間となっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「3時間未満」(同率項目あり)が最も多く、平均は中学校が2.0時間、高校(全日制)が3.0時間、高校(定時制)が5.0時間となっている。

表 平日1日あたりに世話を費やす時間(最長)

網掛け=	1位		(1)		(2)		(3)		平均(時間)
	2位		3時間未満	3～7時間未満	7時間以上	無回答	(%)		
全体	492		18.1	8.5	2.0	71.3		2.8	
学校別	中学校	268	17.5	6.3	0.4	75.7		2.0	
	高校	224	18.8	11.2	4.0	66.1		3.4	
	全日制	210	19.0	11.4	2.9	66.7		3.0	
	定時制	9	11.1	11.1	11.1	66.7		5.0	
	通信制	-	-	-	-	-		-	

問14. (7) 休日1日あたりに世話を費やす時間

休日にお世話はどれくらい行っていますか。

全体では、「3時間未満」(21.7%)が最も多く、次いで「3～7時間」(5.7%)、「7時間以上」(2.0%)となっており、平均2.5時間となっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「3時間未満」(同率項目あり)が最も多く、平均は中学校が2.0時間、高校(全日制)が2.6時間、高校(定時制)が3.3時間となっている。

表 休日1日あたりに世話を費やす時間(平均)

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(%)				平均(時間)
			(1) 3時間未満	(2) 3～7時間未満	(3) 7時間以上	無回答	
全体		492	21.7	5.7	2.0	70.5	2.5
学校別	中学校	268	20.1	3.7	1.1	75.0	2.0
	高校	224	23.7	8.0	3.1	65.2	2.9
	全日制	210	23.8	7.6	2.4	66.2	2.6
	定時制	9	22.2	22.2	-	55.6	3.3
	通信制	-	-	-	-	-	-

最長時間は、「3時間未満」(14.4%)が最も多く、次いで「3～7時間」(8.9%)、「7時間以上」(4.7%)となっており、平均3.7時間となっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「3時間未満」(同率項目あり)が最も多く、平均は中学校が2.9時間、高校(全日制)が4.0時間、高校(定時制)が5.0時間となっている。

表 休日1日あたりに世話を費やす時間(最長)

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(%)				平均(時間)
			(1) 3時間未満	(2) 3～7時間未満	(3) 7時間以上	無回答	
全体		492	14.4	8.9	4.7	72.0	3.7
学校別	中学校	268	13.8	7.1	2.6	76.5	2.9
	高校	224	15.2	11.2	7.1	66.5	4.3
	全日制	210	15.2	11.4	6.2	67.1	4.0
	定時制	9	11.1	11.1	11.1	66.7	5.0
	通信制	-	-	-	-	-	-

問15. 世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

世話をしているために、やりたいけど、できていないことはありますか。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「特にない」(26.6%)が最も多く、次いで「自分の時間がとれない」(7.3%)、「睡眠が十分に取れない」(4.5%)などとなっている。

学校別にみると、中学校、高校(全日制)は「特にない」が最も多く、次いで「自分の時間がとれない」が多い。以下、中学校は「睡眠が十分に取れない」、高校(全日制)は「宿題をする時間や勉強する時間がとれない」が多くなっている。

表 世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(%)
		学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	学校の行事や活動に参加できない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活動や習い事ができない、もしくはやめなければならなかった	
1位 2位	492	0.4	0.8	4.3	1.0	4.5	3.0	0.6	
全体	268	0.4	1.1	2.6	1.5	3.7	2.6	0.7	
学校別	中学校	224	0.4	0.4	6.3	0.4	5.4	3.6	0.4
	高校	210	-	-	6.7	0.5	5.2	3.3	0.5
	全日制	9	-	-	-	-	11.1	-	-
	定時制	-	-	-	-	-	-	-	-

網掛け=	回答数(人)	(8)	(9)	(10)	(11)	(%)
		進学先や就職などの進路の変更を考えないといけない、または進路を変更した	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
1位 2位	492	1.2	7.3	0.6	26.6	62.2
全体	268	0.4	5.6	-	25.4	66.8
学校別	中学校	2.2	9.4	1.3	28.1	56.7
	高校	2.4	9.5	1.0	28.1	57.6
	全日制	-	-	-	44.4	44.4
	定時制	-	-	-	-	-

問16. 世話をすることを感じているきつさ

お世話をすることにつらさ・ストレスを感じていますか。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「特にきつさは感じていない」(26.4%)が最も多く、次いで「精神的にきつい」(6.1%)、「時間に余裕がない」(5.9%)などとなっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「特にきつさは感じていない」が最も多くなっているが、高校(全日制)は「精神的にきつい」、「時間に余裕がない」が中学校に比べて多くなっている。

表 世話をすることを感じているきつさ

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)	
		身体的にきつい	精神的にきつい	時間的に余裕がない	特にきつさは感じていない	無回答	
1位 2位	492	2.4	6.1	5.9	26.4	64.2	
全体	268	1.9	3.4	3.4	25.7	69.0	
学校別	中学校	224	3.1	9.4	8.9	27.2	58.5
	高校	210	3.3	10.0	9.0	25.2	60.0
	全日制	9	-	-	11.1	44.4	44.4
	定時制	-	-	-	-	-	-

問17. 世話について相談した経験

お世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。
(あてはまる番号1つを選択)

全体では、「ない」(31.1%)、「ある」(6.3%)、となっている。
学校別にみると、いずれの学校種でも「ない」が最も多くなっている。

表 世話について相談した経験

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(%)
			ある	ない	無回答
全 体		492	6.3	31.1	62.6
学 校 別	中学校	268	4.5	28.7	66.8
	高校	224	8.5	33.9	57.6
	全日制	210	8.1	32.9	59.0
	定時制	9	22.2	33.3	44.4
	通信制	-	-	-	-

問18. 世話についての相談相手

【問17】で「1. ある」と回答した方にお聞きます。それは誰ですか。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「家族(母親、父親、おばあさん、おじいさん、兄弟・姉妹)」(54.8%)が最も多く、次いで「友人」(51.6%)、「学校の先生(保健室の先生以外)」(22.6%)などとなっている。

学校別にみると、中学校は「家族(母親、父親、おばあさん、おじいさん、兄弟・姉妹)」(58.3%)、高校(全日制)は「友人」(70.6%)がそれぞれ最も多くなっている。

表 世話についての相談相手

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(%)
			家族(母親、父親、おばあさん、おじいさん、兄弟・姉妹)	親せき(おばさん、おじいさんなど)	友人	学校の先生(保健室の先生以外)	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー	スクールカウンセラー	
全 体		31	54.8	3.2	51.6	22.6	12.9	6.5	6.5	
学 校 別	中学校	12	58.3	8.3	25.0	25.0	-	-	-	
	高校	19	52.6	-	68.4	21.1	21.1	10.5	10.5	
	全日制	17	52.9	-	70.6	23.5	23.5	11.8	11.8	
	定時制	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-	

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(%)
			病院の人(医師や看護師、相談室の人など)	福祉サービスの人(ヘルパーやケア担当の人など)	市役所や町役場の福祉の人や保健センターの人	民生委員・児童委員の人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
全 体		-	-	-	-	-	-	6.5	6.5	-
学 校 別	中学校	-	-	-	-	-	-	8.3	16.7	-
	高校	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-
	全日制	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-
	定時制	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問19. 相談したことによる状況の変化

【問17】で「1. ある」と回答した方にお聞きします。

相談したことで状況は変わりましたか。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「解決まではいかなかったが、気持ちが軽くなった」(35.5%)が最も多く、次いで「悩みが解決した」(25.8%)、「解決まではいかなかったが、周囲のサポートが増えた」(22.6%)などとなっている。

学校別にみると、中学校、高校(全日制)ともに「解決まではいかなかったが、気持ちが軽くなった」がそれぞれ最も多くなっている。

表 相談したことによる状況の変化

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)
			悩みが解決した	解決まではいかなかったが、周囲のサポートが増えた	解決まではいかなかったが、気持ちが軽くなった	何も変わらなかった	無回答
全体		31	25.8	22.6	35.5	19.4	-
学校別	中学校	12	25.0	16.7	41.7	16.7	-
	高校	19	26.3	26.3	31.6	21.1	-
	全日制	17	23.5	29.4	35.3	17.6	-
	定時制	2	50.0	-	-	50.0	-
	通信制	-	-	-	-	-	-

問20. 世話についての悩みを相談していない理由

【問17】で「2. ない」と回答した方にお聞きします。

相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「相談したいと思わない」(51.0%)が最も多く、次いで「その他」(17.6%)、「相談しても解決につながると思わない」(12.4%)などとなっている。

学校別にみると、中学校、高校(全日制)は「相談したいと思わない」がそれぞれ最も多くなっている。

表 世話についての悩みを相談していない理由

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(%)
			誰に相談したらよいかわからない	誰かに相談したいが、相談できる人が身近にいない	誰かに相談したいが、家族の都合のため話しにくい	誰かに相談したいが、家族から他人に相談しないように言われている	誰かに相談したいが、家族に対していやな思いを持たれたくない	相談したいと思わない	相談しても解決につながると思わない	その他	無回答
全体		153	6.5	3.3	8.5	2.0	4.6	51.0	12.4	17.6	19.0
学校別	中学校	77	9.1	5.2	10.4	3.9	6.5	46.8	14.3	16.9	23.4
	高校	76	3.9	1.3	6.6	-	2.6	55.3	10.5	18.4	14.5
	全日制	69	4.3	1.4	5.8	-	2.9	59.4	10.1	15.9	14.5
	定時制	3	-	-	-	-	-	33.3	-	66.7	-
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問2 1. 世話についての悩みを相談しやすい相手

【問17】で「2. ない」と回答した方にお聞きします。

お世話についての困りごとや悩みを相談するとしたら、誰が一番相談しやすいですか。(あてはまる番号1つを選択)

全体では、「友人」(37.9%)が最も多く、次いで「その他」(15.0%)、「学校の先生(保健室の先生以外)」(5.9%)などとなっている。

学校別にみると、中学校、高校(全日制)は「友人」がそれぞれ最も多くなっている。

表 世話についての悩みを相談しやすい相手

網掛け =		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(%)	
1位 2位		回答数(人)	友人	学校の先生(保健室の先生以外)	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー	スクールカウンセラー	病院の人(医師や看護師、相談室の人など)	SNS上での知り合い	福祉サービスの人(ヘルパーやケア担当の人など)	
全体		153	37.9	5.9	2.0	2.0	2.0	-	3.9	3.3	
学校別	中学校	77	40.3	10.4	-	-	2.6	-	2.6	3.9	
	高校	76	35.5	1.3	3.9	3.9	1.3	-	5.3	2.6	
	全日制	69	39.1	1.4	4.3	2.9	1.4	-	5.8	2.9	
	定時制	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
網掛け =		(9)	(10)	(%)							
1位 2位		市役所や町役場の福祉の人や保健センターの人	その他	無回答							
全体		1.3	15.0	26.8							
学校別	中学校	1.3	11.7	27.3							
	高校	1.3	18.4	26.3							
	全日制	1.4	14.5	26.1							
	定時制	-	66.7	33.3							
	通信制	-	-	-							

問22. 学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「特にない」(29.7%)が最も多く、次いで「自由に使える時間が欲しい」、「学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい」(同率6.3%)となっている。

学校別にみると、中学校、高校(全日制)、高校(定時制)は「特にない」が最も多くなっている。

表 学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(%)
		自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	食事の準備や洗濯などの家事を代わりにしてくれる人やサービスがほしい	自分がしているお世話(ケア)を代わりにしてくれる人やサービスがほしい	家族が適切な治療や介護保険サービスを受けられるよう手続きをしてほしい	自由に使える時間がほしい	
1位 2位	492	5.1	1.0	1.4	1.2	0.2	1.0	6.3	
学校別	中学校	268	4.1	1.1	1.5	0.4	0.4	1.1	6.0
	高校	224	6.3	0.9	1.3	2.2	-	0.9	6.7
	全日制	210	6.7	1.0	1.0	2.4	-	1.0	6.7
	定時制	9	-	-	-	-	-	-	11.1
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-
網掛け=	回答数(人)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(%)
		進路や就職など将来の相談にのってほしい	自分と同じような状況の人と話をし悩みを共有する場がほしい	学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい	収入が少ないので経済的な援助(サポート)をしてほしい	その他	特にない	わからない	無回答
1位 2位	4.7	4.1	6.3	2.2	1.4	29.7	5.9	50.8	
学校別	中学校	3.0	3.4	5.2	2.6	0.7	30.6	4.5	54.1
	高校	6.7	4.9	7.6	1.8	2.2	28.6	7.6	46.9
	全日制	7.1	5.2	8.1	1.9	1.9	29.0	6.7	47.6
	定時制	-	-	-	-	-	33.3	22.2	33.3
	通信制	-	-	-	-	-	-	-	-

問23. 希望する相談方法

どのような方法で話を聞いてほしい、相談にのってほしいですか。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「直接会って」(57.7%)が最も多く、次いで「電話」(23.1%)、「SNS」(19.2%)などとなっている。

学校別にみると、中学校は「直接会って」(58.3%)が最も多く、次いで「電話」(25.0%)となっており、高校(全日制)は「直接会って」(57.1%)が最も多く、次いで「SNS」(28.6%)となっている。

表 希望する相談方法

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(%)
		直接会って	電話	SNS	電子メール	その他	無回答
1位 2位	26	57.7	23.1	19.2	7.7	7.7	15.4
学校別	中学校	12	58.3	25.0	8.3	16.7	25.0
	高校	14	57.1	21.4	28.6	-	7.1
	全日制	14	57.1	21.4	28.6	-	7.1
	定時制	-	-	-	-	-	-
	通信制	-	-	-	-	-	-

4. ヤングケアラーについて

問24. ヤングケアラーの自己認識

あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか？(あてはまる番号1つを選択)

全体では、「あてはまらない」(74.8%)が最も多く、次いで「わからない」(11.0%)、「あてはまる」(1.9%)となっている。

学校別にみると、「あてはまる」と回答した割合は、中学生が1.7%、高校(全日制)が2.0%、高校(定時制)が4.2%となっている。

表 ヤングケアラーの自己認識

網掛け=			(1)	(2)	(3)	(%)	
	1位	2位	回答数(人)	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答
全体			3,218	1.9	74.8	11.0	12.3
学校別	中学校		1,729	1.7	76.6	8.5	13.2
	高校		1,489	2.1	72.7	13.8	11.3
	全日制		1,388	2.0	73.5	13.0	11.5
	定時制		71	4.2	57.7	29.6	8.5
	通信制		21	-	85.7	9.5	4.8

問25. ヤングケアラーの認知度

「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(あてはまる番号1つを選択)

全体では、「聞いたことはない」(48.9%)が最も多く、次いで「聞いたことがあり、内容も知っている」(22.4%)、「聞いたことがあるが、よく知らない」(16.2%)となっている。

学校別にみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことがあるが、よく知らない」を合わせた『聞いたことがある』の割合は、中学生が38.5%、高校(全日制)が39.0%、高校(定時制)が25.3%、高校(通信制)が61.9%となっている。

表 ヤングケアラーの認知度

網掛け=			(1)	(2)	(3)	(%)	
	1位	2位	回答数(人)	聞いたことがあり、内容も知っている	聞いたことがあるが、よく知らない	聞いたことはない	無回答
全体			3,218	22.4	16.2	48.9	12.6
学校別	中学校		1,729	21.7	16.8	47.7	13.7
	高校		1,489	23.1	15.4	50.2	11.3
	全日制		1,388	23.1	15.9	49.5	11.5
	定時制		71	18.3	7.0	63.4	11.3
	通信制		21	47.6	14.3	33.3	4.8

問26. ヤングケアラーについて知ったきっかけ

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「テレビや新聞・ラジオ」(62.9%)が最も多く、次いで「SNS やインターネット」(30.1%)、「学校から聞いた」(23.3%) などとなっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「テレビや新聞・ラジオ」が5割を超えて最も多く、次いで「SNS やインターネット」となっている。

表 ヤングケアラーについて知ったきっかけ

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(%)
			テレビや新聞、ラジオ	雑誌や本	SNSやインターネット	広報やチラシ、掲示物	イベントや交流会など	学校から聞いた	友人・知人から聞いた	その他	
全体		1,240	62.9	10.0	30.1	11.5	1.9	23.3	5.6	4.8	2.4
学校別	中学校	667	63.3	12.1	27.6	13.9	1.9	20.8	7.2	5.5	2.7
	高校	573	62.5	7.5	33.0	8.7	1.7	26.2	3.7	4.0	2.1
	全日制	541	62.7	7.9	32.2	8.5	1.8	27.4	3.7	3.9	2.0
	定時制	18	50.0	-	33.3	16.7	-	11.1	-	11.1	5.6
	通信制	13	76.9	-	61.5	7.7	-	-	7.7	-	-

問27. ヤングケアラーの相談窓口の認知度

家族に急な病気や事故があった場合、自分が家族のお世話をする状況になる可能性は誰にでもあり、ヤングケアラーは身近な問題です。あなたは、ヤングケアラーが悩みを相談できる以下の相談窓口を知っていますか。(あてはまる番号すべてを選択)

全体では、「知らない」(55.6%)が最も多く、次いで「学校(担任の先生や保健室の先生、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど)」(24.5%)、「24時間子どもSOSダイヤル(心の教育センターの24時間対応の電話相談窓口です)」(12.5%) などとなっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「知らない」が最も多く、次いで「学校」となっている。

表 ヤングケアラーの相談窓口の認知度

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(%)
			学校(担任の先生や保健室の先生、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど)	市町村や町村役場の児童家庭相談担当部署(相談の内容によって、介護や医療・学校なども連携して対応します)	心の教育センター(困りごとや気持ちの悩みなどに、スクールカウンセラーが対応します)	24時間子どもSOSダイヤル(心の教育センターの24時間対応の電話相談窓口です)	児童相談所相談専用ダイヤル(児童相談所の24時間対応の電話相談窓口です)	知らない	
全体		3,218	24.5	4.8	10.6	12.5	7.4	55.6	16.5
学校別	中学校	1,729	24.1	4.1	10.2	12.2	7.1	53.2	18.8
	高校	1,489	24.8	5.6	11.1	12.8	7.9	58.4	13.8
	全日制	1,388	24.9	5.8	11.0	12.8	7.8	58.4	14.0
	定時制	71	25.4	1.4	11.3	11.3	9.9	56.3	15.5
	通信制	21	19.0	9.5	9.5	14.3	4.8	61.9	4.8

問28. ヤングケアラーのフォーラムへの参加意向

高知県庁では、ヤングケアラーと呼ばれている子どもたちが身近にいること、悩みを抱えている友人がいた際に相談できる機関はどこなのかなど、まずはヤングケアラーについて知ってもらうとともに、家族のお世話やケアを担う子どもたちが夢や希望を持って活躍するために、どのような支援が必要なのか、若者とともに語り合うためのフォーラムの開催を予定していますが、参加してみたいと思いますか。(あてはまる番号1つを選択)

全体では、「どちらでもない」(50.8%)が最も多く、次いで「参加したいと思わない」(25.7%)、「参加したい」(8.6%)となっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「どちらでもない」が最も多くなっており、「参加したい」の割合は、中学校が8.3%、高校(全日制)が9.3%、高校(定時制)が8.5%となっている。

表 ヤングケアラーのフォーラムへの参加意向

網掛け=	回答数(人)		参加意向 (%)			
	1位	2位	(1) 参加したい	(2) 参加したいと思わない	(3) どちらでもない	無回答
全体	3,218		8.6	25.7	50.8	14.9
学校別	中学校	1,729	8.3	25.9	49.7	16.1
	高校	1,489	9.1	25.5	52.0	13.4
	全日制	1,388	9.3	25.1	51.9	13.7
	定時制	71	8.5	23.9	54.9	12.7
	通信制	21	-	42.9	52.4	4.8

問29. ヤングケアラーのオンラインサロンへの参加意向

高知県にヤングケアラーが気軽に集い、悩みや不安を打ち明けられることのできる「オンラインサロン(※)」があった場合、参加してみたいと思いますか。(あてはまる番号1つを選択)※オンラインサロンとは、ウェブサービスやSNSなどを使ったコミュニティのことを指します。

全体では、「どちらでもない」(46.2%)が最も多く、次いで「参加したいと思わない」(31.8%)、「参加したい」(6.7%)などとなっている。

学校別にみると、いずれの学校種でも「どちらでもない」が最も多くなっており、「参加したい」の割合は、中学校が6.4%、高校(全日制)が6.8%、高校(定時制)が11.3%、高校(通信制)が9.5%となっている。

表 ヤングケアラーのオンラインサロンへの参加意向

網掛け=	回答数(人)		参加意向 (%)			
	1位	2位	(1) 参加したい	(2) 参加したいと思わない	(3) どちらでもない	無回答
全体	3,218		6.7	31.8	46.2	15.4
学校別	中学校	1,729	6.4	32.0	44.8	16.8
	高校	1,489	7.0	31.6	47.8	13.6
	全日制	1,388	6.8	31.5	47.9	13.8
	定時制	71	11.3	32.4	43.7	12.7
	通信制	21	9.5	38.1	47.6	4.8

問30. 自由意見（ヤングケアラー支援に必要なこと等）

ヤングケアラーを支援していくために必要だと思うことや、こうしてほしいと思うことがあれば自由に書いてください

アンケート調査において、さまざまな自由意見が寄せられた。ここでは、その一部を紹介する。以下に記載する意見は、原文のままではないが、なるべく回答者の表現を用いる形で記載している。

表 自由意見（ヤングケアラー支援に必要なこと等）

(1) 話を聞いてほしい、理解してほしい

1	自分がヤングケアラーだということを言えずに隠し、抱える人が1人でも減るような社会にするために誰でも相談しやすい環境を作ることが大切だと思います。
2	ヤングケアラーの人や経験した人しか苦しみがわからないので支援する側の人やヤングケアラーではない人に、どれだけつらいか理解してもらうことが必要だと思います。
3	交換日記などをつけて、日々のストレスを溜め込まないようにし、同時に情報の共有をする。
4	家庭の悩みを他人に打ち明けることは、とても勇気がいることだと思います。まずは、人に打ち明けることをしなければ、何も始まらないと思います。人に助けを求めることは、恥ずかしいことでもないし、むしろ相談してもらいたいと言うことを、子供達に近い存在の人達に発信・直接声掛けしてもらって、悩みを抱えている人達にも、相談できる人や場所があるという知識を持ってもらいたい。
5	「言ったとしても、話を聞いてもらったとしても、環境が変わるわけではない」と感じているヤングケアラーの人が多いのではないかと思います。ただ「話に来てね」「電話してね」ではなく、「……というような援助があります」という具体的な解決策も全体に公開していくと、相談してみようという気持ちになる人も増えるのではないのでしょうか？家に電話がなかったり、Wi-Fiの設備が整っていない(自分で外の世界と繋がれない)家がヤングケアラーの中にこそ多いのではないかと思います。今のような「電話する、窓口に行くシステム」では相談するにできない場合も少なからずあると感じます。
6	自分の考えや価値観が他の人にもそうだとは思わないことが大前提で、その人の状況をまずは受け入れて、助言が必要なら助言をし、話を聞くだけでいい状況なら気が済むまで話を聞いてあげることが大切だと思います。
7	悩みを打ち明けやすい場がたくさんあったらいいと思います。直接話ができる場が身近にあれば話しやすいのではないかと思います。
8	ヤングケアラーである当事者本人が相談しやすいように理解や認知を進めていく必要があり、この問題が身近であるということを先生や親など生徒にとって影響のある人が伝えていく必要があると思う。

(2) 要望、求める支援(世話をしている家族がいると回答した生徒の意見)

1	ちょっと言い方が悪いかもしれませんが、始めは支援もクソもない。最初はまずヤングケアラーが悩みを打ち明けないと話が進まないと僕は思っています。ですが悩みというのはそう気軽には相談できないものです。なので、そのためにはまずアンケートをしつこく出した方がいいと思っています。また、ヤングケアラーは基本的家族などの時間を使って勉強や友達と遊ぶ回数も少ないため、1週間のルーティンアンケートを出しても良さそうかなと思っています。
2	ヤングケアラーを対象とする、支援する人達が各地域で必要だと思う。
3	追いつけていない勉強を、自分のペースで教えてほしい。相談を聞いて欲しい。
4	うちの場合は母子家庭です。だから誰かが体調を崩し保育園に行けない時は母親は生活の為に仕事を休まず、代わりに休んでみます。また収入がないため、夜は夜で働きに出るので、幼いきょうだいを子守りし、寝かしつけています。経済的な支援を子供がいる家庭にするのはわかりますが、ひとり親であり経済力がないところには、経済的支援を増やして欲しい。そしたら母親との時間がつくれる。また、熱を出したら預かってくれる場所がほしい。
5	嫌になったら逃げられる居場所を作る。
6	個人で勉強できる無料のスペースがほしい人があると思う。

7	自分のように家族のお世話で自分の時間が取れなかったりする人たちのためにサポートをしてほしい。
8	経済的な支援をもっとするや、気づかれていないヤングケアラーがいるかもしれないから、それをいち早く発見するような相談窓口を設けるべきだと思う。
9	介護サービスの充実 本人の楽しさ、心のケア。
10	ヤングケアラー同士の雑談チャットみたいなあればと思う。
11	QOL の質の向上を最終目標として、保証やサポートの充実をして欲しい。

(3) ヤングケアラーに必要だと思う支援

1	いつでも気軽にできるプライバシーを守って相談できる場所を子供全体に分かりやすく教えることが必要。子供みんなが携帯を持っているとは限らない。自分の家庭が基本になるから他人の家庭とくらべるのが少なく、ヤングケアラーなのにそれに気づいていない子供もいると思う。助けて欲しくても家族が隠したり何か理由があって、言えない場合もあると思うからなかなか支援が難しいとも思う。親が食事を作ってくれないというの聞いたことがあるから、子ども食堂があるのはとても良いと思う。高校も義務教育にするべき。教育面の支援をもっとしてほしい。学校だけの学習ではついていけない子どもは沢山いる。塾は、金額が高いし合っている子どもしか続かない。ヤングケアラーでもそうじゃなくても、時間やお金もなくて余裕がない家庭でもその子に合った勉強ができる支援は必要だと思う。
2	市役所も病院みたいに、時間外でも支援について話を聞いてくれたり24時間体制の手続きができる受け入れがして貰える場所があればいいと思います。
3	メールなどで、状況を送信できるようにしたら、いいと思います。介護などが苦しくなったときに、その人の代わりにお世話をすることもいいと思います。
4	経済的支援と相談窓口。多くの人時間を過ごす学校の先生は忙しく無理、スクールカウンセラーも親の予約がいっぱいで、子どもと向き合ってくれる人はあまりいないと思う。僕もその状況になったら受け入れてしまう(捨てる事ができない)と思うので、学校でも、人権や講演会などで相談窓口などを知る機会があれば、いいと思う。
5	ヤングケアラーであることを知られずにいることが問題であるため、お互いに情報交換できる場が必要。学校など身近な場で大人が介入できれば良いと思う。
6	低所得親への支援。子供食堂のように気軽に子供が行ける場所の増加。学校の先生やSCの意識を高めて、子供の様子に気を配ったり家庭訪問できる人を増やす。欠席が多いと友人ができにくく、子供が孤独にならないように精神的支援。欠席の理由にも注意する。
7	「ヤングケアラー」と言う言葉は人によって知らない人、知っている人いると思うので県庁の職員の方に来校していただき講習会を開いてほしいです。また、身近にヤングケアラーの子もいると思うのですが、本人は周りに言えない状況だと思います。「何であの子すぐ学校休むの?」とか、「何であの子すぐ保健室行くの?」など誤解も生まれてしまうと思います。なので、ヤングケアラーの方への支援もよろしくお願いします。
8	自分はそうではないから辛さを感じた事がないけれど、もしヤングケアラーの立場になったら苦しいと思う。少しでも若い方たちが、苦痛を感じないような生活にすべきだと思うため、高知県全体が高齢者を支える支援をするべきだと思う。ボランティアを募集したり、是非あたしも参加してみたい。
9	国、都道府県、地方自治体ぐるみで取り組んでいく必要があり、具体的で効果的な政策を実施していく必要がある。相談を受ける、訪問をするだけでは根本的な解決に繋がらないから、自分たちが現場に行き、現場を知った上で政策を考えていく必要がある。
10	自分ではヤングケアラーだと気づいていない人が多くいると思うので、学校などの授業で真剣にヤングケアラーとはこういう人たちを指し、解決策はこうだ。と分かりやすく説明する機会があってもいいと思った。また、担任の先生などが、家庭に対する質問を何気ない会話に含め、状況を把握していくということも、大事なかなと思った。あからさまに聞くと、みんな、自分は違う。と認めたくない人も出てくるも思った。
11	SNSなどで呼びかけて代わって、世話をする。
12	補助金を出したり市でできる活動、学校でのヤングケアラーについての学習などを取り入れる。
13	医療的支援の必要な人が若くても、看護介護の公的支援が受けられれば、ヤングケアラーも少なくなるのでは?
14	短時間での効果的な学習が可能な通信教育の充実

(4) ヤングケアラーの普及啓発に向けて必要なこと

1	「ヤングケアラー」とは何か知らない人のために、もっとニュースとかで取り上げたらいいと思う。
2	ヤングケアラーがどういうことか情報発信して、認知度を上げて欲しい。ヤングケアラーの人の声(思いや要望)を聞いてみたい。
3	ヤングケアラーの人がみんなの輪から取り残されないように小学生の頃から家族の世話や家事をしている子いるということを教育の一環として教えるべきだと思う。
4	このようなアンケートを幅広く行いヤングケアラーの存在をたくさんの人に知ってもらおう。相談できる場所がある事も広めていき、ヤングケアラーが相談しやすい環境を作っていく。
5	ヤングケアラーを専門にしている人の情報をもっと広めてほしいです。
6	学校での説明会などを開き情報を広める。
7	一人一人の関心を高め、県規模ではなく一つ一つの学校が制度として取り入れる方が現実的であり、ヤングケアラーとなった生徒が過ごしやすくなると思う。学校の制度の内容としては、他の生徒より課題を減らしたりなど1人にかかる負担を減らす取り組みを行うべきだと考える。また、主任の先生などが気にかけることが大切であると思う。
8	自分がヤングケアラーなのかどうかわかっていない人も多いと思うので、ヤングケアラーについての情報をもっと広く知ってもらいたいと思います。
9	一般的にあまり知られていないため、TVのCMや広告などでこの活動の事をもっと広めてほしい。
10	学校の授業でヤングケアラーについてやるようにしたり、ポスターを作成して道や教室に掲示できるようにする。
11	私は、普通に弟や妹などの世話をしているだけの時に「ヤングケアラーだ」など言われ、勝手に同情されたことがある。どんな時がヤングケアラーなのかをしっかりと教え、誤解をなくして欲しい。
12	本人が気が付いていないことが多いため、近所の人や、友だち間での気付きなどまわりからの発信も大事だと思います。

第3章 テーマ別の分析

1. 世話をしている家族の有無別にみた生活等の状況の違い

① 性別

世話をしている家族がいる層は「男性」(50.4%)、世話をしている家族がいない層は「女性」(54.5%)が半数以上を占めている。

表 性別

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(%)
			男性	女性	その他	無回答
全体		3,218	45.2	53.2	1.1	0.4
世話の有無	いる	492	50.4	48.4	1.0	0.2
	いない	2,545	43.9	54.5	1.2	0.5

② 同居家族（家族構成）

世話をしている家族がいる層は、世話をしている家族がいない層と比較して、「三世代世帯」や「ひとり親世帯」の割合が高くなっている。

表 同居家族（家族構成）

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)
			二世代世帯	三世代世帯	ひとり親世帯	その他世帯	無回答
全体		3,218	62.1	17.5	16.0	3.9	0.5
世話の有無	いる	492	54.7	22.0	19.1	4.1	0.2
	いない	2,545	63.3	16.8	15.5	3.7	0.6

③ 健康状態

世話をしている家族がいる層は、世話をしている家族がいない層と比較して、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』の割合が2.8ポイント高くなっている（いる層=9.5%、いない層=6.7%）。

表 健康状態

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(%)
			よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全体		3,218	48.5	20.8	23.5	5.8	1.1	0.3
世話の有無	いる	492	41.5	19.5	29.1	7.7	1.8	0.4
	いない	2,545	49.2	21.2	22.7	5.6	1.1	0.3

④ 欠席・遅刻・早退の状況

欠席の状況について、世話をしている家族がいる層は、世話をしている家族がいない層と比較して、「たまにする」と「よくする」を合わせた『欠席する』の割合が4.4ポイント高くなっている（いる層=16.1%、いない層=11.7%）。

表 欠席の状況

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(%)
			まったくない (0回)	ほとんどない (年に1~2回 程度)	たまにする(月 1回程度)	よくする(2週 間に1回以上)		
全体		3,218	57.6	28.3	8.9	3.7	1.5	
世話の 有無	いる	492	52.8	28.9	11.4	4.7	2.2	
	いない	2,545	58.5	28.6	8.2	3.5	1.2	

遅刻の状況について、世話をしている家族がいる層は、世話をしている家族がいない層と比較して、「たまにする」と「よくする」を合わせた『遅刻する』の割合が5.1ポイント高くなっている（いる層=14.2%、いない層=9.1%）。

表 遅刻の状況

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(%)
			まったくない (0回)	ほとんどない (年に1~2回 程度)	たまにする(月 1回程度)	よくする(2週 間に1回以上)		
全体		3,218	68.9	18.5	6.3	3.9	2.5	
世話の 有無	いる	492	63.0	18.5	8.9	5.3	4.3	
	いない	2,545	70.6	18.3	5.6	3.5	1.9	

早退の状況について、世話をしている家族がいる層は、世話をしている家族がいない層と比較して、「たまにする」と「よくする」を合わせた『遅刻する』の割合が2.1ポイント高くなっている（いる層=6.9%、いない層=4.8%）。

表 早退の状況

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答	(%)
			まったくない (0回)	ほとんどない (年に1~2回 程度)	たまにする(月 1回程度)	よくする(2週 間に1回以上)		
全体		3,218	69.0	23.1	4.0	1.1	2.7	
世話の 有無	いる	492	65.2	24.0	5.7	1.2	3.9	
	いない	2,545	70.3	22.8	3.7	1.1	2.2	

⑤ 部活動への参加状況

世話をしている家族がいる層は、世話をしている家族がいない層と比較して、「参加していない」の割合が4.2ポイント高くなっている（いる層=26.0%、いない層=21.8%）。

表 部活動への参加状況

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	無回答	(%)
			参加している	参加してい ない		
全体		3,218	77.3	22.2	0.4	
世話の 有無	いる	492	73.4	26.0	0.6	
	いない	2,545	78.0	21.8	0.2	

⑥ 普段の学校生活であてはまること

世話をしている家族がいる層は、すべてのケース（項目）であてはまる割合が『いない層』より高くなっている。特に割合差が高いのは、「宿題や課題ができていないことが多い(+7.0ポイント)」、「学校への書類の提出が遅れることが多い(+6.8ポイント)」となっている。

一方で、「特にない」は『いない層』の過半数に対して世話をしている家族がいる層は4割程度にとどまる。

表 普段の学校生活であてはまること

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(%)
		授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	体操服や水着などの持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	学校への書類の提出が遅れることが多い	修学旅行や部活動の遠征などの宿泊行事に参加できないことが多い	保健室で過ごすことが多い	
全体	3,218	23.3	16.5	7.4	4.4	13.0	0.7	1.5	
世話をしている	492	28.0	22.4	9.8	7.1	18.7	1.6	2.2	
	いない	2,545	22.8	15.4	6.8	3.9	11.9	0.6	1.4

網掛け=	回答数(人)	(8)	(9)	(10)	(11)	(%)
		学校では1人で過ごすことが多い	家のことが気になって落ち着けないことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
全体	3,218	6.3	1.8	6.3	55.4	3.3
世話をしている	492	8.3	2.8	8.7	46.5	2.2
	いない	2,545	6.1	1.7	5.9	57.1

⑦ 現在の悩みや困りごと

世話をしている家族がいる層は、すべてのケース（項目）であてはまる割合が『いない層』より高くなっている。特に割合差が高いのは、「勉強や成績のこと(+10.2ポイント)」となっている。

一方で、「特にない」は『いない層』の4割程度に対して世話をしている家族がいる層は3割以下にとどまる。

表 現在の悩みや困りごと

網掛け=	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(%)
		友人との関係のこと	勉強や成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費など学校生活に必要なお金のこと	塾や習い事のこと(行きたくても行けないなど)	家庭の経済的状況のこと	
全体	3,218	14.9	40.2	40.1	12.0	6.4	2.1	6.0	
世話をしている	492	17.5	50.0	46.1	13.0	7.9	3.3	6.5	
	いない	2,545	15.0	39.8	40.3	12.1	6.4	1.8	6.2

網掛け=	回答数(人)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(%)
		自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間のこと	その他	特にない	無回答
全体	3,218	5.7	3.8	1.5	11.0	4.1	34.3	5.6
世話をしている	492	7.5	4.5	4.3	14.8	4.3	26.0	2.4
	いない	2,545	5.7	3.6	1.1	10.7	4.3	37.2

⑧ 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

世話をしている家族がいる層は、世話をしている家族がいない層と比較して、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」の割合が4.0ポイント高くなっている（いる層＝9.4%、いない層＝5.4%）。

表 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

網掛け＝ 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(%)	
		相談相手や話を聞いてくれる人がいる	相談相手や話を聞いてくれる人がいない	相談や話をしたくない	無回答	
全体	1,934	65.0	6.2	22.5	6.2	
世話の有無	いる	352	60.2	9.4	23.6	6.8
	いない	1,523	67.0	5.4	22.8	4.7

⑨ ヤングケアラーの自己認識

世話をしている家族がいる層は、世話をしている家族がいない層と比較して、「あてはまる」の割合が3.7ポイント高くなっている（いる層＝5.1%、いない層＝1.4%）。

表 ヤングケアラーの自己認識

網掛け＝ 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(%)	
		あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答	
全体	3,218	1.9	74.8	11.0	12.3	
世話の有無	いる	492	5.1	39.0	14.0	41.9
	いない	2,545	1.4	86.1	10.7	1.8

⑩ ヤングケアラーの認知度

世話をしている家族がいる層は、世話をしている家族がいない層と比較して、「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことがあるが、よく知らない」を合わせた『聞いたことがある』の割合が26.8ポイント低くなっている（いる層＝18.2%、いない層＝45.0%）。

表 ヤングケアラーの認知度

網掛け＝ 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(%)	
		聞いたことがあり、内容も知っている	聞いたことがあるが、よく知らない	聞いたことはない	無回答	
全体	3,218	22.4	16.2	48.9	12.6	
世話の有無	いる	492	9.1	9.1	39.8	41.9
	いない	2,545	26.4	18.6	52.8	2.1

2. 家族構成による世話の状況の違い

① 行っている世話の内容

三世帯世帯は「兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など」の割合が他と比べて高く、ひとり親世帯は、「家事（食事の準備や掃除、洗たくなど）」、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）」の割合が他と比べて高くなっている。

表 行っている世話の内容

世帯タイプ	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(%)
		家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)	兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など	入浴やトイレのお世話など	外出の付き添い(買い物、散歩など)	病院への付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	目が離せない人の見守り	
全体	756	24.3	6.5	5.0	6.7	2.5	5.3	2.6	
家族構成別	二世帯世帯	442	21.9	5.0	5.2	5.0	2.5	3.4	2.5
	三世帯世帯	184	22.8	11.4	6.0	10.9	3.8	6.5	2.2
	ひとり親世帯	92	39.1	5.4	3.3	9.8	1.1	10.9	5.4
	その他世帯	33	27.3	3.0	3.0	-	-	9.1	-

世帯タイプ	回答数(人)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(%)
		通訳(日本語や手話など)	お金の管理	薬の管理	家計を支えるためにアルバイトをしている	その他	無回答
全体		0.4	3.3	2.4	0.7	3.0	65.5
家族構成別	二世帯世帯	0.5	3.2	2.7	0.5	3.4	69.7
	三世帯世帯	0.5	3.3	2.7	-	2.2	65.8
	ひとり親世帯	-	4.3	1.1	3.3	2.2	47.8
	その他世帯	-	3.0	-	-	6.1	51.5

② 世話を始めた年齢

三世帯世帯は「小学生（高学年）」の割合が高く、二世帯世帯、ひとり親世帯、その他世帯は「中学生以降」の割合が高くなっている。

表 世話を始めた年齢

世帯タイプ	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)	平均(歳)	
		就学前	小学生(低学年)	小学生(高学年)	中学生以降	無回答		
全体	492	1.6	4.3	11.2	13.6	69.3	13.6	
家族構成別	二世帯世帯	269	1.9	4.8	11.2	11.5	70.6	12.8
	三世帯世帯	108	0.9	5.6	14.8	10.2	68.5	12.9
	ひとり親世帯	94	-	2.1	9.6	23.4	64.9	14.0
	その他世帯	20	10.0	-	-	15.0	75.0	24.1

③ 世話をしている頻度

いずれの家族構成でも「ほぼ毎日」の割合が高く、ひとり親世帯では「週に3～5日」を合わせると36.2%と他に比べ高くなっている。

表 世話をしている頻度

網掛け = 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(%)	
		ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他	無回答	
全体	492	15.9	6.9	5.5	4.3	2.4	65.0	
家族構成別	二世帯世帯	269	13.0	7.1	6.3	4.1	1.9	67.7
	三世帯世帯	108	15.7	3.7	8.3	3.7	2.8	65.7
	ひとり親世帯	94	24.5	11.7	1.1	4.3	2.1	56.4
	その他世帯	20	15.0	-	-	10.0	10.0	65.0

④ 平日1日あたりに世話に費やす時間(平均)

いずれの家族構成でも「3時間未満」の割合が高く、二世帯世帯は平均1.3時間、三世帯世帯は平均2.1時間、ひとり親世帯は平均1.7時間となっている。また、ひとり親世帯は「3～7時間未満」の割合が他に比べ高くなっている。

表 平日1日あたりに世話に費やす時間(平均)

網掛け = 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(%)	平均(時間)	
		3時間未満	3～7時間未満	7時間以上	無回答		
全体	492	25.8	3.0	1.0	70.1	1.8	
家族構成別	二世帯世帯	269	25.3	1.9	0.4	72.5	1.3
	三世帯世帯	108	25.0	3.7	0.9	70.4	2.1
	ひとり親世帯	94	30.9	6.4	1.1	61.7	1.7
	その他世帯	20	15.0	-	10.0	75.0	6.6

⑤ 休日1日あたりに世話に費やす時間(平均)

いずれの家族構成でも「3時間未満」の割合が高く、二世帯世帯は平均2.2時間、三世帯世帯は平均3.0時間、ひとり親世帯は平均2.2時間となっている。また、ひとり親世帯は「3～7時間未満」の割合が他に比べ高くなっている。

表 休日1日あたりに世話に費やす時間(平均)

網掛け = 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(%)	平均(時間)	
		3時間未満	3～7時間未満	7時間以上	無回答		
全体	492	21.7	5.7	2.0	70.5	2.5	
家族構成別	二世帯世帯	269	21.9	3.7	1.5	72.9	2.2
	三世帯世帯	108	18.5	7.4	2.8	71.3	3.0
	ひとり親世帯	94	27.7	9.6	1.1	61.7	2.2
	その他世帯	20	10.0	5.0	10.0	75.0	6.0

3. 世話を必要としている家族による世話の状況

① 世話を始めた年齢

世話を必要としている家族がきょうだいの場合、「小学生（高学年）」、「中学生以降」の割合が他に比べて高くなっている。

表 世話を始めた年齢

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)	平均(歳)
			就学前	小学生(低学年)	小学生(高学年)	中学生以降	無回答	
全体		492	1.6	4.3	11.2	13.6	69.3	13.6
世話の相手	父母	303	2.0	5.6	9.9	11.2	71.3	12.6
	祖父母	19	-	-	10.5	31.6	57.9	24.3
	きょうだい	57	-	7.0	35.1	35.1	22.8	12.8
	その他	21	9.5	-	9.5	28.6	52.4	14.9

② 世話をしている頻度

世話を必要としている家族がきょうだいの場合、「ほぼ毎日」の割合が他に比べて高くなっている。

表 世話をしている頻度

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(%)
			ほぼ毎日	週に3~5日	週に1~2日	1か月に数日	その他	無回答
全体		492	15.9	6.9	5.5	4.3	2.4	65.0
世話の相手	父母	303	14.2	5.3	5.9	4.6	2.6	67.3
	祖父母	19	26.3	5.3	21.1	5.3	-	42.1
	きょうだい	57	45.6	21.1	7.0	8.8	1.8	15.8
	その他	21	9.5	19.0	-	4.8	14.3	52.4

③ 平日1日あたりに世話に費やす時間（平均）

世話を必要としている家族が父母の場合は平均1.6時間、祖父母の場合は平均1.0時間、きょうだいの場合は平均1.7時間となっている。世話を必要としている家族がきょうだいの場合、「3時間未満」の割合が他に比べて高くなっている。

表 平日1日あたりに世話に費やす時間（平均）

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(%)	平均(時間)
			3時間未満	3~7時間未満	7時間以上	無回答	
全体		492	25.8	3.0	1.0	70.1	1.8
世話の相手	父母	303	24.4	2.6	0.7	72.3	1.6
	祖父母	19	47.4	-	-	52.6	1.0
	きょうだい	57	61.4	8.8	3.5	26.3	1.7
	その他	21	33.3	9.5	4.8	52.4	4.1

④ 世話をすることにつらさを感じるか

世話を必要としている家族が祖父母の場合、「精神的にきつい」、「時間的に余裕がない」の割合が他に比べて高く、きょうだいの場合は「特にきつさは感じていない」の割合が他に比べ高くなっている。

表 世話をすることにつらさを感じるか

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)
			身体的にきつい	精神的にきつい	時間的に余裕がない	特にきつさは感じていない	無回答
全 体		492	2.4	6.1	5.9	26.4	64.2
世 話 の 相 手	父 母	303	2.6	5.9	6.3	26.1	64.7
	祖 父 母	19	-	15.8	10.5	21.1	52.6
	きょうだい	57	5.3	14.0	8.8	63.2	19.3
	そ の 他	21	4.8	4.8	14.3	33.3	52.4

⑤ 世話について相談した経験

世話を必要としている家族がきょうだいの場合、世話について相談した経験が「ない」の割合が他に比べて高くなっている。

表 世話について相談した経験

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(%)
			ある	ない	無回答
全 体		492	6.3	31.1	62.6
世 話 の 相 手	父 母	303	5.9	32.3	61.7
	祖 父 母	19	15.8	31.6	52.6
	きょうだい	57	12.3	63.2	24.6
	そ の 他	21	9.5	42.9	47.6

4. ヤングケアラーの自己意識による生活状況、世話の状況の違い

① 健康状態

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」、「わからない」と回答した場合に比べ、健康状態について「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』（19.7%）の割合が高くなっている。

表 健康状態

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(%)
			よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	
全体		3,218	48.5	20.8	23.5	5.8	1.1	0.3
ラヤ ーの グ 自 ケ ア 認 識	あてはまる	61	44.3	6.6	29.5	14.8	4.9	-
	あてはまらない	2,407	49.5	21.8	22.5	5.1	0.9	0.3
	わからない	353	40.5	18.1	28.3	10.2	2.3	0.6

② 欠席・遅刻・早退の状況

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」、「わからない」と回答した場合に比べ、「たまにする」と「よくする」を合わせた『欠席する』（18.0%）の割合が高くなっている。

表 欠席の状況

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)
			まったくない (0回)	ほとんどない (年に1~2回 程度)	たまにする(月 1回程度)	よくする(2週 間に1回以上)	
全体		3,218	57.6	28.3	8.9	3.7	1.5
ラヤ ーの グ 自 ケ ア 認 識	あてはまる	61	54.1	27.9	8.2	9.8	-
	あてはまらない	2,407	58.6	28.8	8.4	3.1	1.1
	わからない	353	51.8	29.7	11.0	4.8	2.5

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」、「わからない」と回答した場合に比べ、「たまにする」と「よくする」を合わせた『遅刻する』（18.1%）の割合が高くなっている。

表 遅刻の状況

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)
			まったくない (0回)	ほとんどない (年に1~2回 程度)	たまにする(月 1回程度)	よくする(2週 間に1回以上)	
全体		3,218	68.9	18.5	6.3	3.9	2.5
ラヤ ーの グ 自 ケ ア 認 識	あてはまる	61	55.7	23.0	11.5	6.6	3.3
	あてはまらない	2,407	70.7	18.3	5.9	3.3	1.8
	わからない	353	61.8	22.1	7.6	5.7	2.8

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」、「わからない」と回答した場合に比べ、「たまにする」と「よくする」を合わせた『早退する』(13.1%)の割合が高くなっている。

表 早退の状況

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)
			まったくない (0回)	ほとんどない (年に1~2回程度)	たまにする(月 1回程度)	よくする(2週 間に1回以上)	無回答
全体		3,218	69.0	23.1	4.0	1.1	2.7
ラ ヤ ン の グ レ ー の グ レ ー 自 己 ア	あてはまる	61	63.9	21.3	11.5	1.6	1.6
	あてはまらない	2,407	70.1	23.4	3.3	1.1	2.1
	わからない	353	66.6	23.5	5.9	1.1	2.8

③ 部活動への参加状況

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「参加していない」(27.9%)の割合が高くなっている。

表 部活動への参加状況

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(%)
			参加している	参加してない	無回答
全体		3,218	77.3	22.2	0.4
ラ ヤ ン の グ レ ー の グ レ ー 自 己 ア	あてはまる	61	72.1	27.9	-
	あてはまらない	2,407	78.1	21.6	0.2
	わからない	353	70.5	28.6	0.8

④ 普段の学校生活であてはまること

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」、「わからない」の場合に比べ、全体的に回答割合が高くなっており、特に「授業中に居眠りすることが多い」、「宿題や課題ができていないことが多い」の割合が高くなっている。

表 普段の学校生活であてはまること

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(%)
			授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	体操服や水着などの持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	学校への書類の提出が遅れることが多い	修学旅行や部活動の遠征などの宿泊行事に参加できないことが多い	保健室で過ごすことが多い	
全体		3,218	23.3	16.5	7.4	4.4	13.0	0.7	1.5	
ラ ヤ ン の グ レ ー の グ レ ー 自 己 ア	あてはまる	61	31.1	24.6	14.8	4.9	18.0	4.9	1.6	
	あてはまらない	2,407	22.6	15.5	7.1	4.3	11.8	0.5	1.2	
	わからない	353	26.3	19.8	6.8	4.2	15.6	0.6	3.1	

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(8)	(9)	(10)	(11)	(%)
			学校では1人で過ごすことが多い	家のことが気になって落ち着けないことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
全体		6.3	1.8	6.3	55.4	3.3	
ラ ヤ ン の グ レ ー の グ レ ー 自 己 ア	あてはまる	13.1	9.8	14.8	41.0	-	
	あてはまらない	5.9	1.5	6.1	56.8	2.7	
	わからない	7.9	3.7	5.9	54.1	3.1	

⑤ 現在の悩みや困りごと

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」、「わからない」の場合に比べ、全体的に回答割合が高くなっており、特に「勉強や成績のこと」、「進路のこと」、「家庭の経済的状況のこと」、「自分のために使える時間のこと」の割合が高くなっている。

表 現在の悩みや困りごと

網掛け = 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(%)
		友人との関係のこと	勉強や成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費など学校生活に必要なお金のこと	塾や習い事のこと(行きたくても行けないなど)	家庭の経済的状況のこと	
全体	3,218	14.9	40.2	40.1	12.0	6.4	2.1	6.0	
ラ ヤ ン の グ 自 ケ ア ラ ー の 認 識	あてはまる	61	14.8	55.7	52.5	16.4	11.5	6.6	16.4
	あてはまらない	2,407	15.1	41.2	41.2	12.0	6.4	1.9	5.5
	わからない	353	15.9	39.1	39.1	13.0	7.6	1.7	9.9

網掛け = 1位 2位	回答数(人)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(%)
		自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間のこと	その他	特になし	無回答
全体	5.7	3.8	1.5	11.0	4.1	34.3	5.6	
ラ ヤ ン の グ 自 ケ ア ラ ー の 認 識	あてはまる	13.1	9.8	16.4	21.3	8.2	19.7	-
	あてはまらない	5.0	3.1	1.0	11.0	4.2	35.2	3.3
	わからない	10.5	8.2	3.1	11.3	4.0	41.6	2.0

⑥ 世話を必要としている家族の続柄

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」、「わからない」と回答した場合に比べ、「兄弟・姉妹」(52.0%)の割合が高くなっている。

表 世話を必要としている家族の続柄

網掛け = 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(%)	
		母親	父親	おばあさん	おじいさん	兄弟・姉妹	その他		
全体	492	58.5	36.0	17.3	8.5	26.8	6.5	18.7	
ラ ヤ ン の グ 自 ケ ア ラ ー の 認 識	あてはまる	25	44.0	24.0	4.0	52.0	12.0	-	
	あてはまらない	192	65.6	39.6	14.6	8.9	24.0	5.7	17.7
	わからない	69	42.0	26.1	17.4	8.7	40.6	13.0	13.0

⑦ 行っている世話の内容

ヤングケアラーかどうかに対して、「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」、「わからない」の場合に比べ、全体的に回答割合が高くなっており、特に「家事（食事の準備や掃除、洗たくなど）」、「兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など」、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」の割合が高くなっている。

表 行っている世話の内容

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(%)
			家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)	兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など	入浴やトイレのお世話など	外出の付き添い(買い物、散歩など)	病院への付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	目が離せない人の見守り	
全体		756	24.3	6.5	5.0	6.7	2.5	5.3	2.6	
ラヤ ン の グ 自 ケ ア	あてはまる	34	58.8	26.5	23.5	26.5	8.8	20.6	14.7	
	あてはまらない	304	30.6	5.6	4.9	5.6	3.0	3.9	1.6	
	わからない	102	31.4	2.9	6.9	9.8	1.0	13.7	5.9	
網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(%)		
			通訳(日本語や手話など)	お金の管理	薬の管理	家計を支えるためにアルバイトをしている	その他	無回答		
全体		0.4	3.3	2.4	0.7	3.0	65.5			
ラヤ ン の グ 自 ケ ア	あてはまる	2.9	8.8	5.9	2.9	2.9	11.8			
	あてはまらない	0.3	3.6	3.6	0.3	3.3	60.2			
	わからない	0.0	1.0	2.0	2.9	5.9	48.0			

⑧ 学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

ヤングケアラーかどうかに対して、「あてはまる」と回答した場合、「あてはまらない」、「わからない」の場合に比べ、全体的に回答割合が高くなっており、特に「自由に使える時間がほしい」、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」の割合が高くなっている。

表 学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(%)
			自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談のってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	食事の準備や洗濯などの家事を代わりにしてくれる人やサービスがほしい	自分がしているお世話(ケア)を代わりにしてくれる人やサービスがほしい	家族が適切な治療や介護保険サービスを受けられるよう手続きをしてほしい	自由に使える時間がほしい	
全体		492	5.1	1.0	1.4	1.2	0.2	1.0	6.3	
ラヤ ン の グ 自 ケ ア	あてはまる	25	32.0	16.0	24.0	8.0	4.0	12.0	36.0	
	あてはまらない	192	6.3	0.5	0.5	1.0	-	0.5	6.3	
	わからない	69	4.3	-	-	1.4	-	1.4	11.6	
網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(%)
			進路や就職など将来の相談のってほしい	自分と同じような状況の人と話をして悩みを共有する場がほしい	学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい	収入が少ないので経済的な援助(サポート)をしてほしい	その他	特になし	わからない	無回答
全体		4.7	4.1	6.3	2.2	1.4	29.7	5.9	50.8	
ラヤ ン の グ 自 ケ ア	あてはまる	20.0	20.0	24.0	16.0	12.0	32.0	8.0	-	
	あてはまらない	6.8	5.2	9.9	2.6	1.0	52.6	6.8	21.9	
	わからない	4.3	5.8	7.2	1.4	1.4	49.3	18.8	15.9	

5. 世話の状況の違いごとの世話に要する頻度等の違い

① 世話をしている頻度

世話の相手の状況が、「まだ幼い子ども」、「認知症」、「身体障がい」、「精神障がい」、「病気」、「家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)ができない(しない)」、「その他」は、「ほぼ毎日」の割合が高く、「依存症」は、「週に3～5日」、「お年寄り」、「知的障がい」は、「週に1～2日」、「介護が必要」は、「1か月に数日」の割合がそれぞれ高くなっている。

世話の内容について、「その他」以外のいずれの内容でも「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

表 世話をしている頻度

網掛け =	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無回答	(%)
			ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他		
全体		756	15.6	5.8	6.2	5.4	2.5		64.4
世話の相手の状況	お年寄り	50	14.0	10.0	24.0	12.0	2.0		38.0
	まだ幼い子ども	63	41.3	14.3	6.3	14.3	1.6		22.2
	介護が必要	15	26.7	13.3	6.7	33.3	-		20.0
	認知症	12	25.0	16.7	8.3	16.7	-		33.3
	身体障がい	9	33.3	11.1	22.2	22.2	-		11.1
	知的障がい	6	16.7	16.7	33.3	16.7	-		16.7
	精神障がい(疑い含む)	7	28.6	28.6	14.3	-	-		28.6
	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など)(疑い含む)	3	-	33.3	-	-	-		66.7
	病気	29	24.1	13.8	13.8	3.4	3.4		41.4
	家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)ができない(しない)	55	50.9	14.5	12.7	7.3	-		14.5
その他	51	27.5	15.7	9.8	5.9	11.8		29.4	
世話の内容	家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)	184	40.2	15.2	13.6	9.8	4.3		16.8
	兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など	49	34.7	10.2	8.2	8.2	10.2		28.6
	入浴やトイレのお世話など	38	36.8	21.1	5.3	15.8	7.9		13.2
	外出の付き添い(買い物、散歩など)	51	39.2	15.7	15.7	5.9	5.9		17.6
	病院への付き添い	19	47.4	15.8	-	-	5.3		31.6
	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	40	37.5	22.5	12.5	5.0	5.0		17.5
	目が離せない人の見守り	20	50.0	30.0	-	15.0	-		5.0
	通訳(日本語や手話など)	3	33.3	33.3	33.3	-	-		-
	お金の管理	25	32.0	4.0	12.0	12.0	12.0		28.0
	薬の管理	18	38.9	33.3	11.1	-	5.6		11.1
家計を支えるためにアルバイトをしている	5	60.0	-	20.0	20.0	-		-	
その他	23	17.4	4.3	4.3	-	26.1		47.8	

② 平日1日あたりに世話に費やす時間

世話の相手の状況が、いずれの相手でも「3時間未満」の割合が高く、平均では「精神障がい」、「その他」がともに2.0時間と他と比べ長くなっている。

世話の内容について、いずれの内容でも「3時間未満」の割合が高く、平均では「家計を支えるためにアルバイトをしている」が3.4時間、「兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など」が3.3時間と他と比べ長くなっている。

表 平日1日あたりに世話に費やす時間

網掛け =	回答数(人)	(%)				平均(時間)		
		(1) 3時間未満	(2) 3~7時間未満	(3) 7時間以上	無回答			
1位								
2位								
全体	756	26.3	2.5	0.9	70.2	1.7		
世話の相手の状況	お年寄り	50	52.0	2.0	-	46.0	1.2	
	まだ幼い子ども	63	61.9	7.9	3.2	27.0	1.7	
	介護が必要	15	66.7	6.7	-	26.7	1.5	
	認知症	12	50.0	8.3	-	41.7	1.6	
	身体障がい	9	66.7	11.1	-	22.2	1.4	
	知的障がい	6	66.7	16.7	-	16.7	1.4	
	精神障がい(疑い含む)	7	42.9	14.3	-	42.9	2.0	
	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など)(疑い含む)	3	-	-	-	100.0	-	
	病気	29	37.9	6.9	-	55.2	1.7	
	家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)ができない(しない)	55	72.7	3.6	-	23.6	1.3	
	その他	51	58.8	7.8	2.0	31.4	2.0	
	世話の内容	家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)	184	64.7	4.9	1.6	28.8	1.6
		兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など	49	34.7	6.1	8.2	51.0	3.3
入浴やトイレのお世話など		38	57.9	13.2	2.6	26.3	1.8	
外出の付き添い(買い物、散歩など)		51	64.7	3.9	3.9	27.5	2.0	
病院への付き添い		19	26.3	10.5	-	63.2	2.3	
感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)		40	52.5	12.5	5.0	30.0	2.4	
目が離せない人の見守り		20	80.0	15.0	-	5.0	1.6	
通訳(日本語や手話など)		3	66.7	-	-	33.3	0.5	
お金の管理		25	40.0	-	-	60.0	1.1	
薬の管理		18	55.6	5.6	-	38.9	1.4	
家計を支えるためにアルバイトをしている		5	40.0	40.0	20.0	-	3.4	
その他		23	47.8	4.3	4.3	43.5	3.1	

③ 休日1日あたりに世話に費やす時間

世話の相手の状況が、いずれの相手でも「3時間未満」の割合が高く、平均では「精神障がい」が3.5時間、「病気」が3.2時間と他と比べ長くなっている。

世話の内容について、「家計を支えるためにアルバイトをしている」以外は「3時間未満」の割合が高く、「家計を支えるためにアルバイトをしている」は「3～7時間未満」の割合が高い。平均では「病院への付き添い」が4.5時間、「兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など」が4.2時間と他と比べ長くなっている。

表 休日1日あたりに世話に費やす時間

網掛け =	1位 2位	回答数(人)	(1) (2) (3)			無回答	平均(時間)
			3時間未満	3～7時間未満	7時間以上		
全体		756	22.4	5.4	1.6	70.6	2.3
世話の相手の状況	お年寄り	50	44.0	8.0	2.0	46.0	1.9
	まだ幼い子ども	63	49.2	14.3	7.9	28.6	2.9
	介護が必要	15	53.3	13.3	6.7	26.7	2.5
	認知症	12	41.7	8.3	8.3	41.7	2.6
	身体障がい	9	66.7	11.1	-	22.2	2.1
	知的障がい	6	50.0	33.3	-	16.7	2.4
	精神障がい(疑い含む)	7	42.9	-	14.3	42.9	3.5
	依存症(アルコール依存症、ギャンブル依存症など)(疑い含む)	3	-	-	-	100.0	-
	病気	29	20.7	17.2	3.4	58.6	3.2
	家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)ができない(しない)	55	58.2	16.4	-	25.5	1.9
	その他	51	54.9	9.8	3.9	31.4	2.2
世話の内容	家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)	184	54.3	12.5	3.3	29.9	2.3
	兄弟・姉妹の世話や保育所等への送迎など	49	26.5	12.2	8.2	53.1	4.2
	入浴やトイレのお世話など	38	47.4	15.8	10.5	26.3	3.1
	外出の付き添い(買い物、散歩など)	51	43.1	25.5	3.9	27.5	2.8
	病院への付き添い	19	15.8	5.3	10.5	68.4	4.5
	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	40	37.5	25.0	7.5	30.0	3.6
	目が離せない人の見守り	20	70.0	20.0	5.0	5.0	2.5
	通訳(日本語や手話など)	3	66.7	-	-	33.3	1.0
	お金の管理	25	40.0	-	-	60.0	1.2
	薬の管理	18	44.4	5.6	11.1	38.9	3.4
	家計を支えるためにアルバイトをしている	5	40.0	60.0	-	-	3.0
その他	23	47.8	4.3	4.3	43.5	2.5	

6. お世話をしているため、やりたいけどできていないことがある人の状況

① 世話を必要としている家族の続柄

世話をしているために、やりたいけど、できていないことがあると回答した人が、お世話をしている家族は、「父母」(50.9%)が最も多く、次いで「きょうだい」(49.1%)、「祖父母」(14.6%)などとなっている。

表 世話を必要としている家族の続柄

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)
			父母	祖父母	きょうだい	その他	無回答
制限がある		55	50.9	14.6	49.1	14.6	-

② 世話をしている頻度

世話をしているために、やりたいけど、できていないことがあると回答した人が、世話をしている頻度は、「ほぼ毎日」(43.6%)が最も多く、次いで「週に3～5日」(23.6%)、「週に1～2日」(12.7%)などとなっている。

表 世話をしている頻度

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(%)
			ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他	無回答
制限がある		55	43.6	23.6	12.7	9.1	5.5	5.5

③ 学校への通学状況(欠席の状況)

世話をしているために、やりたいけど、できていないことがあると回答した人の、学校への通学状況(欠席の状況)は、「まったくない(0回)」(50.9%)が最も多く、次いで「ほとんどない(年に1～2回程度)」(25.5%)、「たまにする(月1回程度)」(16.4%)などとなっている。

全体の回答と比較すると、欠席等を「よくする」と「たまにする」を合わせた割合(21.9%)が、全体の回答(12.6%)と比べて9.3ポイント多くなっている。

表 学校への通学状況(欠席の状況)

網掛け=	1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)
			まったくない(0回)	ほとんどない(年に1～2回程度)	たまにする(月1回程度)	よくする(2週間に1回以上)	無回答
制限がある		55	50.9	25.5	16.4	5.5	1.8
全体の回答		3,218	57.6	28.3	8.9	3.7	1.5

④ 世話について相談した経験

世話をしているために、やりたいけど、できていないことがあると回答した人のうち、相談した経験が「ある」(32.7%)、「ない」(67.3%)となっている。

表 世話について相談した経験

網掛け = 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(%)
		ある	ない	無回答
制限がある	55	32.7	67.3	-

⑤ 相談したことによる状況の変化

世話をしているために、やりたいけど、できていないことがあると回答した人のうち、相談した経験したことによる状況の変化が、「解決まではいかなかったが、気持ちが軽くなった」(44.4%)が最も多く、次いで「解決まではいかなかったが、周囲のサポートが増えた」(33.3%)、「悩みが解決した」(16.7%)などとなっている。

表 相談したことによる状況の変化

網掛け = 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(%)
		悩みが解決した	解決まではいかなかったが、周囲のサポートが増えた	解決まではいかなかったが、気持ちが軽くなった	何も変わらなかった	無回答
制限がある	18	16.7	33.3	44.4	11.1	-

⑥ 世話について悩みを相談していない理由

世話をしているために、やりたいけど、できていないことがあると回答した人のうち、悩みを相談していない理由について、「相談したいと思わない」(48.6%)が最も多く、次いで「相談しても解決につながると思わない」(29.7%)、「誰かに相談したいが、家族のこのため話しにくい」(27.0%)などとなっている。

表 世話について悩みを相談していない理由

網掛け = 1位 2位	回答数(人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(%)
		誰に相談したらよいかわからない	誰かに相談したいが、相談できる人が身近にいない	誰かに相談したいが、家族のこのため話しにくい	誰かに相談したいが、家族から他人に相談しないように言われている	誰かに相談したいが、家族に対していやな思いを持たれたくない	相談したいと思わない	相談しても解決につながると思わない	その他	無回答
制限がある	37	13.5	8.1	27.0	8.1	16.2	48.6	29.7	13.5	10.8

第4章 アンケート調査票

中高生の生活実態に関するアンケート調査

※生徒が回答するアンケート調査の内容は下記の通りです。（こちらは見本用の調査票であり、実際は携帯電話またはパソコンから回答します。）

※答えにくい問いは、答えなくても構いません。無理のない範囲で回答してください。

1. 基本情報

【問1】 あなたの通っている課程を教えてください。（あてはまる番号1つを選択）※問1は高校生のみ

1. 全日制 2. 定時制 3. 通信制 4. その他

【問2】 あなたの学年を教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. あてはまるものはない（※4は高校生のみ）

【問3】 あなたの性別を教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

1. 男性 2. 女性 3. その他

【問4】 あなたが住んでいる（普段生活している）市町村を教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

1. 高知市 2. 室戸市 3. 安芸市 4. 南国市 5. 土佐市
6. 須崎市 7. 四万十市 8. 土佐清水市 9. 宿毛市 10. 香美市
11. 香南市 12. 東洋町 13. 奈半利町 14. 田野町 15. 安田町
16. 北川村 17. 馬路村 18. 芸西村 19. 大川村 20. 土佐町
21. 本山町 22. 大豊町 23. いの町 24. 仁淀川町 25. 佐川町
26. 越知町 27. 日高村 28. 中土佐町 29. 梶原町 30. 津野町
31. 四万十町 32. 黒潮町 33. 大月町 34. 三原村 35. その他（県外）

【問5】 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。（あてはまる番号すべてを選択）

1. 母親 2. 父親 3. おばあさん 4. おじいさん 5. 兄・姉⇒（ ）人
6. 弟・妹⇒（ ）人 7. その他（ ）

【問6】 あなたの健康状態について教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

2. 普段の生活についてお伺いします。

【問7】 学校への通学状況（病気の場合を除く）について教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

(1)欠席の状況

1. まったくない（0回） 2. ほとんどない（年に1～2回程度） 3. たまにする（月1回程度）
4. よくする（2週間に1回以上）

(2)遅刻の状況

1. まったくない（0回） 2. ほとんどない（年に1～2回程度） 3. たまにする（月1回程度）
4. よくする（2週間に1回以上）

(3)早退の状況

1. まったくない（0回） 2. ほとんどない（年に1～2回程度） 3. たまにする（月1回程度）
4. よくする（2週間に1回以上）

(5)どれくらいお世話をしていますか（あてはまる番号1つを選択）

1. ほぼ毎日 2. 週に3～5日 3. 週に1～2日 4. 1か月に数日 5. その他（ ）

(6)平日にお世話はどれくらい行っていますか。

- 1日平均（ ）時間程度 1日最長（ ）時間程度

(7)休日にお世話はどれくらい行っていますか。

- 1日平均（ ）時間程度 1日最長（ ）時間程度

【問 15】 お世話をしているために、やりたいけど、できていないことはありますか。（あてはまる番号すべてを選択）

1. 学校に行きたくても行けない
2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう
3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない
4. 学校の行事や活動に参加できない
5. 睡眠が十分に取れない
6. 友人と遊ぶことができない
7. 部活動や習い事ができない、もしくはやめなければならなかった
8. 進学先や就職などの進路の変更を考えないといけな、または進路を変更した
9. 自分の時間が取れない
10. その他（ ）
11. 特にない

【問 16】 お世話をすることにつらさ・ストレスを感じていますか。（あてはまる番号すべてを選択）

1. 身体的にきつい 2. 精神的にきつい 3. 時間的に余裕がない 4. 特にきつさは感じていない

【問 17】 お世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

（あてはまる番号1つを選択）

1. ある ⇒【問 18、19】へ 2. ない ⇒【問 20、21】へ

【問 18】 【問 17】で「1. ある」と回答した方にお聞きます。それは誰ですか。（あてはまる番号すべてを選択）

1. 家族（母親、父親、おばあさん、おじいさん、兄弟・姉妹）
2. 親せき（おばさん、おじさんなど）
3. 友人
4. 学校の先生（保健室の先生以外）
5. 保健室の先生
6. スクールソーシャルワーカー
7. スクールカウンセラー
8. 病院の人（医師や看護師、相談室の人など）
9. 福祉サービスの人（ヘルパーやケア担当の人など）
10. 市役所や町村役場の福祉の人や保健センターの人
11. 民生委員・児童委員の人
12. 近所の人
13. SNS上での知り合い
14. その他（ ）

【問 19】 **【問 17】で「1. ある」と回答した方にお聞きます。相談したことで状況は変わりましたか。**

(あてはまる番号すべてを選択)

1. 悩みが解決した
2. 解決まではいかなかったが、周囲のサポートが増えた
3. 解決まではいかなかったが、気持ちが軽くなった
4. 何も変わらなかった

【問 20】 **【問 17】で「2. ない」と回答した方にお聞きます。相談していない理由を教えてください。**

(あてはまる番号すべてを選択)

1. 誰に相談したらよいかわからない
2. 誰かに相談したいが、相談できる人が身近にいない
3. 誰かに相談したいが、家族のこのため話しにくい
4. 誰かに相談したいが、家族から他人に相談しないように言われている
5. 誰かに相談したいが、家族に対していやな思いを持たれたくない
6. 相談したいと思わない
7. 相談しても解決につながら思わない
8. その他 ()

【問 21】 **【問 17】で「2. ない」と回答した方にお聞きます。お世話についての困りごとや悩みを相談するとしたら、誰が一番相談しやすいですか。(あてはまる番号 1 つを選択)**

1. 友人
2. 学校の先生 (保健室の先生以外)
3. 保健室の先生
4. スクールソーシャルワーカー
5. スクールカウンセラー
6. 病院の人 (医師や看護師、相談室の人など)
7. SNS 上での知り合い
8. 福祉サービスの人 (ヘルパーやケア担当の人など)
9. 市役所や町村役場の福祉の人や保健センターの人
10. その他 ()

【問 22】 **学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまる番号すべてを選択)**

1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談にのってほしい
3. 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
4. 食事の準備や洗濯などの家事を代わりにしてくれる人やサービスがほしい
5. 自分がしているお世話 (ケア) を代わりにしてくれる人やサービスがほしい
⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか ()
6. 家族が適切な治療や介護保険サービスを受けられるよう手続きをしてほしい
7. 自由に使える時間がほしい
8. 進路や就職など将来の相談にのってほしい
9. 自分と同じような状況の人と話をして悩みを共有する場がほしい
10. 学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい
11. 収入が少ないので経済的な援助 (サポート) をしてほしい
12. その他 ()
13. 特にない
14. わからない

【問 23】 **【問 22】で「1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい」「2. 家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した方にお聞きます。どのような方法で話を聞いてほしい、相談にのってほしいですか。**

(あてはまる番号すべてを選択)

1. 直接会って
2. 電話
3. SNS
4. 電子メール
5. その他 ()

【問 27】 家族に急な病気や事故があった場合、自分が家族のお世話をする状況になる可能性は誰にでもあり、ヤングケアラーは身近な問題です。あなたは、ヤングケアラーが悩みを相談できる以下の相談窓口を知っていますか。（あてはまる番号すべてを選択）

1. 学校（担任の先生や保健室の先生、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど）
2. 市町村や町村役場の児童家庭相談担当部署（相談の内容によって、介護や医療・学校などとも連携して対応します）
3. 心の教育センター（困りごとや気持ちの悩みなどに、スクールカウンセラーが対応します）
4. 24 時間子ども SOS ダイヤル（心の教育センターの 24 時間対応の電話相談窓口です）
5. 児童相談所相談専用ダイヤル（児童相談所の 24 時間対応の電話相談窓口です）
6. 知らない

◆ひとりのできることには限界があり、誰かに相談してみることも大切です。あなた自身が悩んでいることや困っていることなど、自分の気持ちを誰かに話してみませんか？ また、悩みを抱えている友人がいたら、教えてあげてください。詳しい相談先はこちら⇒チラシ（相談窓口・児童生徒向け）

https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/060401/files/2021122400217/file_2022142103348_1.pdf

【問 28】 高知県庁では、ヤングケアラーと呼ばれている子どもたちが身近にいること、悩みを抱えている友人がいた際に相談できる機関はどこなのかなど、まずはヤングケアラーについて知ってもらうとともに、家族のお世話やケアを担う子どもたちが夢や希望を持って活躍するために、どのような支援が必要なのか、若者とともに語り合うためのフォーラムの開催を予定していますが、参加してみたいと思いますか。（あてはまる番号 1 つを選択）

1. 参加したい
2. 参加したいと思わない
3. どちらでもない

【問 29】 高知県にヤングケアラーが気軽に集い、悩みや不安を打ち明けられることのできる「オンラインサロン（※）」があった場合、参加してみたいと思いますか。（あてはまる番号 1 つを選択） ※オンラインサロンとは、ウェブサービスや SNS などを使ったコミュニティのことを指します。

1. 参加したい
2. 参加したいと思わない
3. どちらでもない

【問 30】【自由記述欄】（ヤングケアラーを支援していくために必要だと思うことや、こうしてほしいと思うことがあれば自由に書いてください）

－アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。－

高知県ヤングケアラー実態調査

－ 結果報告書 －

発行年月：令和5年2月

発行：高知県子ども・福祉政策部子ども家庭課
